

ギガらくカメラ

LTE対応ポータブルカメラシリーズ操作マニュアル (Pocket2/Pocket2Plus/Pocket2PlusV2)

第1.16版

- 本資料はNTT東日本が提供する、ギガらくカメラにご契約頂いたお客様が「LTE対応ポータブルカメラ Pocket2」及び「LTE対応ポータブルカメラ Pocket2 Plus」(以降、それぞれ「ポータブルカメラ」、「ポータブルカメラPlus」)を操作する方法を記載した資料です。
- 本資料で特に断りがない場合は、「LTE対応ポータブルカメラ」及び「LTE対応ポータブルカメラPlus」の両方でご利用いただける機能を記載しております。
- 各ページの画像は「LTE対応ポータブルカメラ」の機器本体や液晶画面を記載しております。「LTE対応ポータブルカメラPlus」の機器本体の部位(ボタン位置等)や液晶に表示される設定メニュー等は記載の該当の章を参照ください。
- 本資料では安全上の注意事項等は特に記載しないため、メーカーの説明書をご確認の上、安全に注意してご使用ください。
- 本サービスにお心あたりの無い方、ご契約を頂いていない方は本資料を破棄頂きますようお願い致します。

【改訂履歴】

版	内容	年月日	発行者
初版(1.0)	新規作成	2020/07/03	NTT東日本
1.1版	p.9 1-4. ネットワークを追記 p.24 英語表記「Only use headset」を日本語表記「ヘッドセットのみ」に修正 p.26 注意事項を日本語表記に修正(「通話モード設定」の「ヘッドセットのみ」) p.29 付録-1. Wi-Fiの設定方法(SSID削除)を追記 p.37,38 付録-8. LTEの設定方法を追記 p.40 付録-9. ビューア側の通話プッシュ通知動作確認方法を追記	2020/08/24	NTT東日本
1.2版	p.32付録-3. カメラのLED状態の間違いを修正。 p.38～付録-8、付録-9 を追記	2020/09/17	NTT東日本
1.3版	p.41 付録-10. を追記	2020/10/07	NTT東日本
1.4版	p.20 4-4-4. 撮影方法(ローカル録画)を追加 p.34 付録-2-2. ファームウェア更新通知 p.36 付録-4. 追加されたアイコンを追記	2021/02/24	NTT東日本
1.5版	アプリ版双方向通話機能実装に伴う更新 p.8 仕様詳細修正 p.27～29 5-2.(通話方法)アプリの初回設定を追記 p.32 5-4. (通話方法)カメラからの呼出しを修正 p.34 5-6. (通話方法)アプリからの呼出しを追記	2021/05/24	NTT東日本
1.6版	グループ通話機能追加に伴う更新 p.35 5-7. (通話方法)グループ通話を追記	2021/07/19	NTT東日本
1.7版	アプリ版グループ通話機能追加に伴う更新	2021/09/15	NTT東日本
1.8版	GPS機能追加に伴う更新 p.38～45 6.GPS機能を追記 p.9 1-3. 仕様詳細(ビューア)を修正 動作検証済みのヘッドセット追加マイクON/OFF制御機能追加に伴う更新 p.32 5-4～5-6 通話機能でのポップアップを追記 p.51 付録-11. マイクON/OFF設定方法を追記	2021/11/30	NTT東日本

版	内容	年月日	発行者
1.9版	p.61 付録－ 10. カメラの設定メニュー一覧を更新	2022.02.24	NTT東日本
1.10版	1-3. 仕様詳細(カメラ本体) 誤解を与える表現を修正。 2-2. 端子カバーの閉め方 (重要)	2022.07.21	NTT東日本
1.11版	・白飛び対策 明るさ調整機能 ・6－3. (GPS機能)デバイスのGPS設定とGPS受信状況の確認 ビューア変更 ・APN設定、WiFi設定 付録－ 1. Wi-Fi接続設定方法(SSIDの登録)	2022.10.14	NTT東日本
1.12版	・Pocket2Plusの操作を全般的に追記	2023.06.20	NTT東日本
1.13版	・遠隔臨場モードについて追記	2023.08.09	NTT東日本
1.14版	・付録－ 6. 実績のある接続機器 (内容を明確化)	2024.02.01	NTT東日本
1.15版	Pocket2PlusV2の記述を追記	2024.04.15	NTT東日本
1.16版	GPS機能 (マップビューア) のスマホアプリ対応に伴う追記 画質設定の注意点を追記	2025.02.06	NTT東日本

【目次】

1. はじめに

- 1-1. はじめに
- 1-2. カメラ本体の各部位について
- 1-3. 仕様詳細
- 1-4. ネットワーク

2. 使用方法についての概要

- 2-1. 録画可能にするまでの手順と準備
- 2-2. 端子カバーの閉め方（重要）

3. 初期作業

- 3-1. NWの接続
- 3-2. ビューアでの映像確認
- 3-3. ヘッドセットの接続

4. 撮影・充電方法

- 4-1. カメラの電源ON/OFFの方法
- 4-2-1. 撮影方法(通常)
- 4-2-2. 撮影方法(ローカル録画)
- 4-3. 充電方法

5. 通話方法

- 5-1. ビューアの初回設定
- 5-2. アプリの初回設定
- 5-3. カメラの初回設定
- 5-4. カメラからの呼出し
- 5-5. ビューアからの呼出し
- 5-6. アプリからの呼出し
- 5-7. ビューアでのグループ通話
- 5-8. アプリでのグループ通話
- 5-9. 遠隔臨場モード

6. GPS機能

- 6-1. (GPS機能)ブラウザの初回設定～Windows/Mac共通
- 6-2. カメラの初回設定
- 6-3. デバイスのGPS設定と受信状況の確認
- 6-4. マップビューアの使用法～立ち上げ
- 6-5. マップビューアの機能説明～基本機能
- 6-6. マップビューアの機能説明～移動軌跡の表示機能
- 6-7. 想定トラブル

【目次】

付録

- 付録－ 1. Wi-Fi接続設定方法
- 付録－ 2 – 1. ファームウェアのアップデート方法
- 付録－ 2 – 2. ファームウェア更新通知
- 付録－ 3. カメラのLED状態
- 付録－ 4. ディスプレイ上の各ステータスアイコン
- 付録－ 5. Wi-Fiデフォルト設定方法
- 付録－ 6. 実績のある接続機器(LTE、ヘッドセット)
- 付録－ 7. ビューアやカメラで音声が届かない場合の対処
- 付録－ 8. LTE接続設定方法
- 付録－ 9. ビューア側の通話プッシュ通知動作確認方法
- 付録－ 10. カメラの設定メニュー一覧
- 付録－ 11. マイクON/OFF設定方法
- 付録－ 12. 映像画質設定(映像の途切れ、遅延の場合の対処方法)
- 付録－ 13. デジタルズーム設定方法(Pocket2Plus/V2)
- 付録－ 14. 手振れ補正設定方法(Pocket2Plus/V2)

はじめに

1 - 1. はじめに

■ 本書について

本書では、LTE対応ポータブルカメラシリーズ特有の機能に関する操作方法を記載しています。
他のカメラと共通するビューア側の操作方は、以下のWEB上にあるビューア操作マニュアル等をご参照ください。
<https://business.ntt-east.co.jp/support/gigarakucamera/>

■ LTE対応ポータブルカメラシリーズの特徴

持ち運び可能な軽量カメラで、バッテリーを搭載しているため電源のない移動先でも利用できます。
他のカメラと同様に、ビューアからライブ映像や録画映像を閲覧できます。

※録画映像のクラウドでの保存期間はプランによって異なります。お客様がご契約されているプランをご確認ください。

■ 安全上のご注意

メーカーの説明書等に記載の注意事項等を必ずお読みになり、注意事項を守ってご利用ください。
特に、カメラ本体が落下しないようご注意ください。

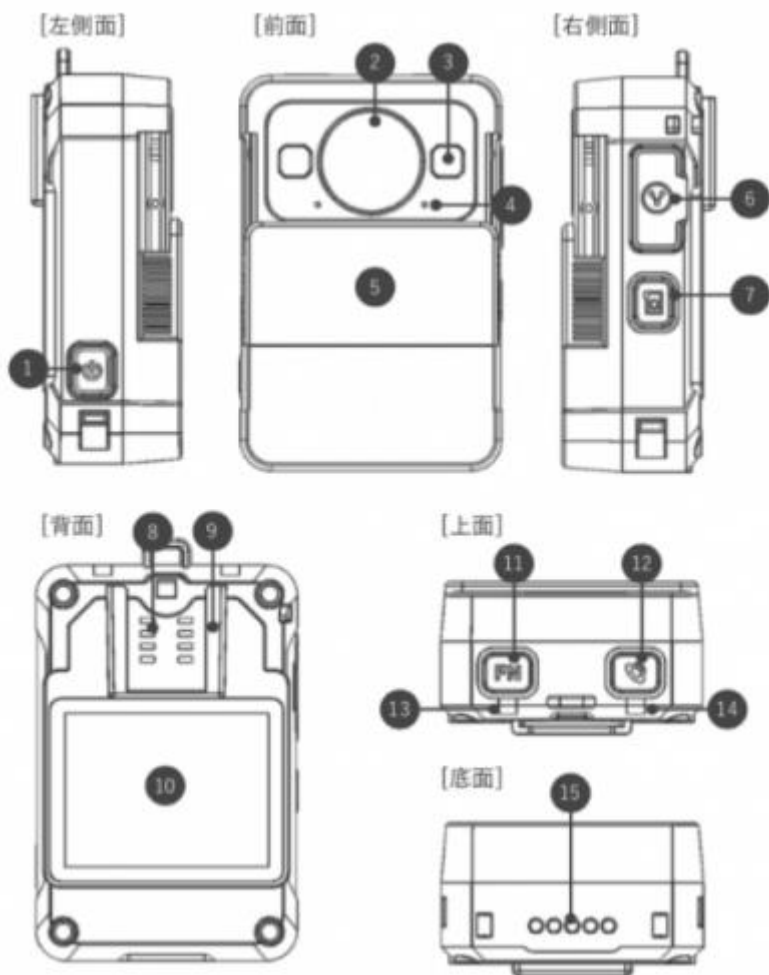
付属のクリップ/アダプタを使用する場合、クリップ/アダプタによる取り付けだけでなく、ストラップ等を用いてカメラ本体が落下しないようにしてご利用ください。

本書での機器名称については、以下のとおり略称で記載します。

機器名称	略称
LTE対応ポータブルカメラ Pocket2	Pocket2
LTE対応ポータブルカメラ Pocket2 Plus	Pocket2Plus
LTE対応ポータブルカメラ Pocket2 PlusV2	Pocket2PlusV2
LTE対応ポータブルカメラ Pocket2 及び LTE対応ポータブルカメラ Pocket2 Plus	Pocket2/Plus
LTE対応ポータブルカメラ Pocket2 Plus 及び LTE対応ポータブルカメラ Pocket2 PlusV2	Pocket2Plus/V2

1 - 2. カメラ本体の各部位について(Pocket2)

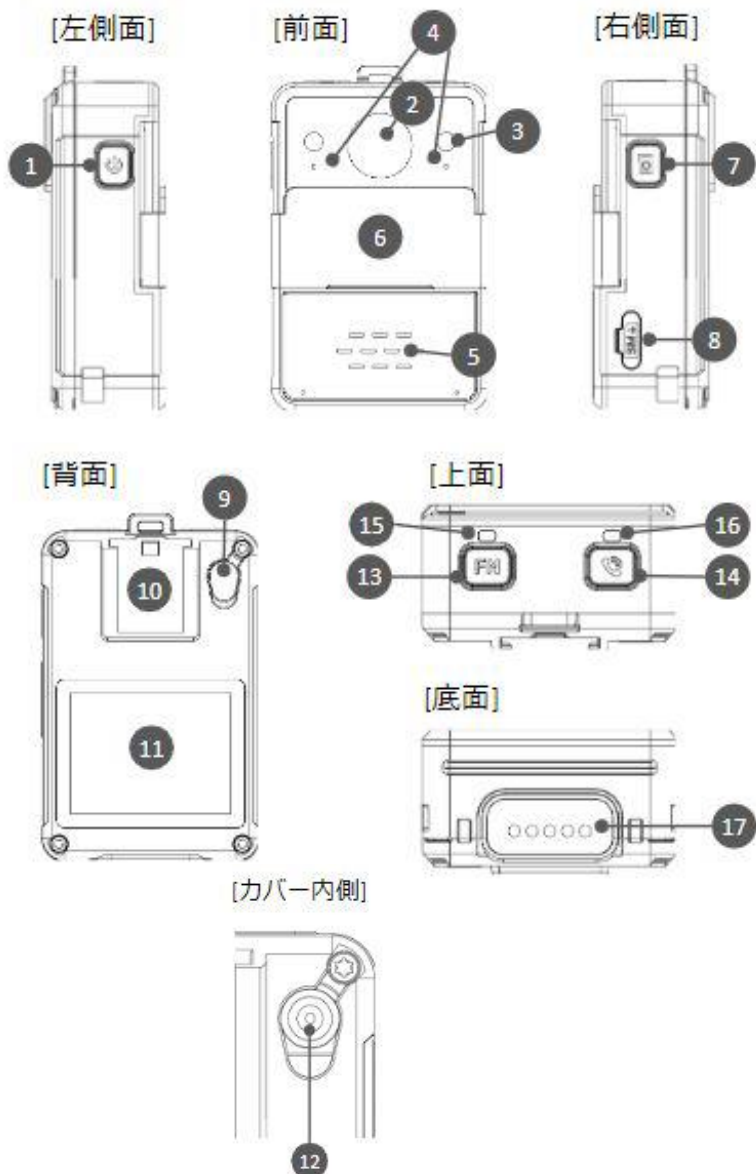
カメラ本体の各部の名称と機能の概要について説明します。



番号	名称	機能
①	電源ボタン	短押：ディスプレイスリープ/復帰 長押：電源ON/OFF
②	レンズ	映像を撮影するためのレンズ
③	白色LED	暗所を照らすランプ。FNボタン長押で点灯します。
④	内臓マイク	音声を録音するためのマイク
⑤	レンズカバー	開くと録音・録画が開始され、設定等もできるようになります。
⑥	端子カバー	nano SIM、イヤホンジャックの挿入口を保護するカバー
⑦	スナップショットボタン	押すとスナップショット撮影できます。
⑧	内臓スピーカー	通話中、相手の音声を発するためのマイク
⑨	アタッチメントホルダ	同梱のクリップを装着できます。
⑩	ディスプレイ	撮影している映像やデバイスのステータスなどが表示される液晶ディスプレイ
⑪	FNボタン	短押：設定メニューをディスプレイに表示 長押：白色LEDのON/OFF
⑫	呼出しボタン	長押することで通話開始します。
⑬	充電状態LED	充電等の状態を色で示します。
⑭	動作状態LED	録画等の状態を色で示します。
⑮	充電端子	同梱のクレードルから給電するための端子。

1 - 2. カメラ本体の各部位について(Pocket2Plus/V2)

カメラ本体の各部の名称と機能の概要について説明します。



番号	名称	機能
①	電源ボタン	短押：ディスプレイスリープ/復帰 長押：電源ON/OFF
②	レンズ	映像を撮影するためのレンズ
③	白色LED	暗所を照らすランプ。設定メニューからON/OFF。
④	内臓マイク	音声を録音するためのマイク
⑤	内臓スピーカー	通話中、相手の音声を発するためのマイク
⑥	レンズカバー	開くと録音・録画が開始され、設定等もできるようになります。
⑦	スナップショットボタン	短押：スナップショット撮影できます。 長押：カスタムキー-2※付録参照。設定で割当てます
⑧	nano SIMスロット	nano SIM用のトレーが挿入されています。
⑨	DC挿入口カバー	DCケーブルの挿入口です。
⑩	アタッチメントホルダ	同梱のクリップを装着できます。
⑪	ディスプレイ	撮影している映像やデバイスのステータスなどが表示される液晶ディスプレイ
⑫	DCジャック	⑨のカバーを開いた状態で見えるプラグです。
⑬	FNボタン	短押：設定メニューをディスプレイに表示 長押：カスタムキー-1※付録参照。設定で割当てます
⑭	呼出しボタン	長押することで通話開始します。
⑮	充電状態LED	充電等の状態を色で示します。
⑯	動作状態LED	録画等の状態を色で示します。
⑰	充電端子	同梱のクレードルから給電するための端子。

1 - 3. 仕様詳細(カメラ本体)

項目	内容	備考
防塵防水仕様	IP67 ※端子カバーを閉めた状態のとき	各カバー(端子カバー、SIMスロット、DC)をしっかり閉めた状態での仕様になります。※充電しながらの屋外利用はできません。
夜間撮影	白色LEDあり	手元を撮影する場合などにご利用いただけます。(暗所で1~2m先を照らす程度の光量です)
LTE (4G)	nano SIM ※docomo系SIMのみ対応	参考として「付録 - 6」に実績のある機種を記載しています。 ※docomo系SIMでも事業者やプラン等によって仕様が異なるため接続できない場合があります。 IPv4は非対応(クラウドサーバがIPv4のみ対応)です。
Wi-Fi	Pocket2/Plus : IEEE 802.11 a/b/g/n/ac Pocket2PlusV2 : IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax セキュリティ (LTE対応ポータブルカメラシリーズ共通) : WPA-PSK/WPA2-PSK	
Bluetooth	Pocket2/Plus : Bluetooth4.2 (HFP/HSP) Pocket2PlusV2 : Bluetooth5.3 (HFP/HSP) ※いずれも通話機能があるヘッドセットのみ使用可能 (音楽のみのものは使用不可)	Bluetooth機器は最大3件まで登録可能で、接続中の機器が切断した場合、登録された他の機器に接続を試みます。 通話機能の使用にあたり、一部の機種はヘッドセットからの発信も可能です。ヘッドセットからの発信を行う場合には、リダイヤル機能が必要となります。 接続実績のある機器は「付録 - 6」に記載しています。
バッテリー	4200mAh / フル充電で最大8時間程度稼働	稼働時間は容量と消費電力を基にした理論値です。 お客様での取り外しはできません。 充電しながら撮影すると、バッテリーに対してはほぼ給電されないため、ご注意ください。
通話	専用ビューアとカメラの間で通話可能。	ビューア側から通話開始した場合、カメラ側で自動的に通話開始するためご注意ください。 Bluetoothヘッドセットの利用をご推奨します。
イヤホンジャック (Pocket2のみ)	OMTP規格 2.5mm モノラル音声	同梱の変換プラグにより利用可能です。 イヤホンジャックご利用の際は端子カバーを開ける必要があり、防塵防水性能が失われるため、Bluetoothヘッドセットの利用をご推奨します。

1-3. 仕様詳細(ビューア)

本カメラ独自機能である通話機能(※1)、プッシュ通知機能(※2)、GPS機能(※3)について利用可能なブラウザを示します。映像視聴はビューアマニュアル等をご確認ください。

種別	ビューアアプリ	通話機能	プッシュ通知	GPS機能	備考
PC	Chrome最新版	○	○	○	各ブラウザ共通事項として、いわゆるシークレット(Private)ウィンドウではプッシュ通知はご利用いただけません。
	Edge最新版	○	○	○	
	Firefox最新版	○	○	○	
	Safari最新版 ※Windows版は未対応	○	×	○	
スマホ	Android専用アプリ	○	○	○	Ver4.15.0以上で利用可能
	iOS専用アプリ	○	○	○	Ver4.15.0以上で利用可能

※1 スマートフォンで通話機能を使用する場合、スマートフォン本体のスピーカー/マイクを使用すると音質が悪化する場合がありますため、ヘッドセットの利用をご推奨します。

※2 プッシュ通知機能とは、通話機能でカメラからビューアもしくはアプリ側を呼び出したときに、ビューア側のPCもしくはアプリ側のスマートフォンに通知を表示する機能です。ブラウザやOSに依存する機能を使用しているため、ブラウザ・アプリ・OSいずれかの設定で表示を制限している場合は使用できません。ブラウザはChromeをご推奨しており、本書でのご説明もChromeの画面を掲載しております。Chrome以外のブラウザをご利用の場合は同等の操作を実施いただく必要があります。Chromeと異なる箇所については各ブラウザの設定をご確認ください。

※3 PCでGPS機能のうち軌跡表示機能をご利用いただくには、ブラウザの設定でハードウェアアクセラレーションを有効にする必要があります。ハードウェアアクセラレーションは、GPUが搭載されているPCのみ使用可能です。

1 - 4. ネットワーク

■ 利用可能なネットワーク接続

本カメラで利用できるネットワークの接続方法は、LTEもしくはWi-Fiです。それぞれの詳しい仕様は、「1 - 3. 仕様詳細(カメラ本体)」をご参照ください。

■ ネットワークの条件

本カメラでは映像データをクラウドに送信するため、特に上りのインターネット通信を使用します。上記接続方法のいずれの場合も、以下の表に記載の上りスループット(目安)が常に可能なネットワーク環境をご用意ください。また、ネットワークの使い方により利用制限がかかる場合があるため、ご契約のプランをよくご確認ください。

機種	上りスループット(目安)
Pocket2	1.5Mbps
Pocket2Plus/V2	2.5Mbps

■ 利用可能なネットワークの自動切替

LTEとWi-Fiはそれぞれ有効(ON)/無効(OFF)を設定できます。片方だけを有効にすれば必ず有効にした接続方法で接続します。LTEとWi-Fiの両方を有効にすると、下記の優先順位に基づいて自動的に接続します。


優先順位	接続方法
1	LTE
2	Wi-Fi(優先設定)
3	Wi-Fi(非優先設定)

※Wi-Fiは複数のSSIDを設定でき、そのうち1つだけを「優先設定」にできます。「優先設定」されたSSIDは左記のように接続の優先順位が高くなります。

使用方法についての概要

2 - 1. 録画可能にするまでの手順と準備

■ 注意事項

- 通話はヘッドセットでの利用をご推奨します。ヘッドセット利用時はヘッドセットのマイクで拾った音が録音されます。
- ネットワーク接続はLTEをご推奨します。Wi-Fi接続も可能です。
- 使用時は電源ON時に「サーバ状態」が「接続中  」であることを必ず確認してから撮影を始めてください。LTEやWi-Fiのアンテナが立っていてもサーバと接続できていない場合があります。

■ 初期作業（開梱～初期設定まで）

カメラが手元に届きましたら3章の初期作業をまず行ってください。

■ 撮影・充電

初期作業が終わりましたら4章の手順に従って撮影の操作方法をご確認ください。

なお、録画された映像を見る方法は別紙のビューアのマニュアルがありますのでそちらをご覧ください。

■ 通話

ビューアとカメラの間で通話をしたい場合は5章の手順に従って操作方法をご確認ください。

2-2. (重要)端子カバーの閉め方 (Pocket2)

<端子カバーとSIMの挿入方法について>

端子カバーは以下の図の赤枠の個所にあるSIMスロットなどを保護するカバーです。

出荷時の状態によらず、端子カバーをしっかり閉めていないことによる浸水等のトラブルはお客様の責となります。

ご利用時に毎回、ご確認の上、しっかりと閉めください。



- ①精密ドライバーで端子カバーを外します。
- ②別途用意したnano SIMを挿入し、カチツとなるまで押し込みます。



- ③以下の<端子カバーの閉め方>を参考にしっかりと端子カバーを閉めます。

<端子カバーの閉め方>



1.親指をゴムキャップにあて、親指と人差指でPocket2本体をはさむように持ちます。



2. 中央、上部、下部の順にゴムキャップをしっかり押し込みます。

<(参考)端子カバーの閉め方が不十分な例>



上部押し込み不十分



下部押し込み不十分



左右部押し込み不十分

2-2. (重要) nano SIMスロットの閉め方 (Pocket2Plus/V2)

出荷時の状態によらず、nano SIMスロット、DC挿入口カバーをしっかりと閉めていないことによる浸水等のトラブルはお客様の責となります。ご利用時に毎回、ご確認の上、しっかりとお閉めください。

<nano SIMスロットの閉め方>



① nano SIMスロットからSIMトレイを取り出し、別途用意した nano SIMをはめ込みます。



② nano SIMトレイをスロットに挿入します。



③ nano SIMトレイを奥まで押し込みます。

<DC挿入口カバーの閉め方>



DC挿入口カバーの下部が浮きがない状態が正しくしまっている状態です。

<OK>



<NG(全体が浮いている)>



初期作業

※以降のページでは「Pocket2」の画面を例に操作説明します。
「Pocket2Plus」の設定メニューについては、「付録－10．カメラの設定メニュー一覧(Pocket2Plus)」を参照ください。

3 - 1. (初期作業)NWの接続

<NWの接続手段>

NWの接続方法は以下の2つの方法があり、ここでは推奨している(1)の手順を記述します。(2)は別ページに記載します。

(1)LTE (SIM) による接続

(2)Wi-Fiによる接続

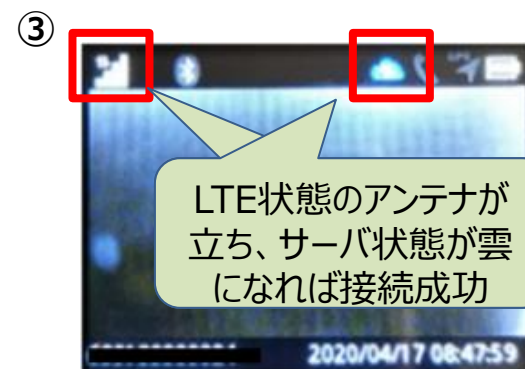
<LTE (SIM) による接続>

①「2-2. 端子カバーの閉め方」を参考にnano SIMを挿入します。

②レンズカバーを下ろし、電源ボタンを押し、電源を入れます。

③液晶が点灯したら、LTE状態とサーバ状態が接続中になっていることを確認できれば完了です。

※タイミングによっては「アクティベーションしてください」というメッセージが表示される可能性がありますが、カメラがインターネットに接続すれば自動的にアクティベーションするのでお待ちください。



3-2. (初期作業)ビューアでの映像確認

カメラの映像を見るためのビューアの設定を行います。

<前提>

・「3-1.NWの接続」が完了していること

<手順>

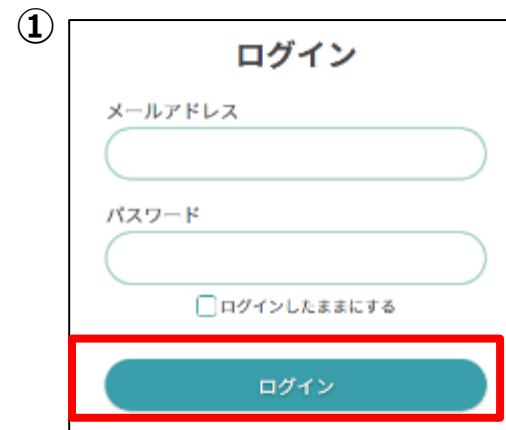
①ビューアのURLにアクセスし、ログインします。

<https://ntteast-cloud-camera.safie.link/app>

②カメラ一覧をクリックし、右側のカメラのリストから該当のカメラを探してクリックします。すると、シングルビューアに遷移します。

③カメラの映像が表示されていることを確認します。表示されていれば録画が成功しています。

④撮影の方向を変える場合は、③の図の歯車を押します。デバイス設定を開いたら、設定タブをクリックし、「イメージの回転」でお好みの角度を選択し、設定を閉じます。映像を確認すると指定した角度で回転しているはずです。



3-3. (初期作業)ヘッドセットの接続1

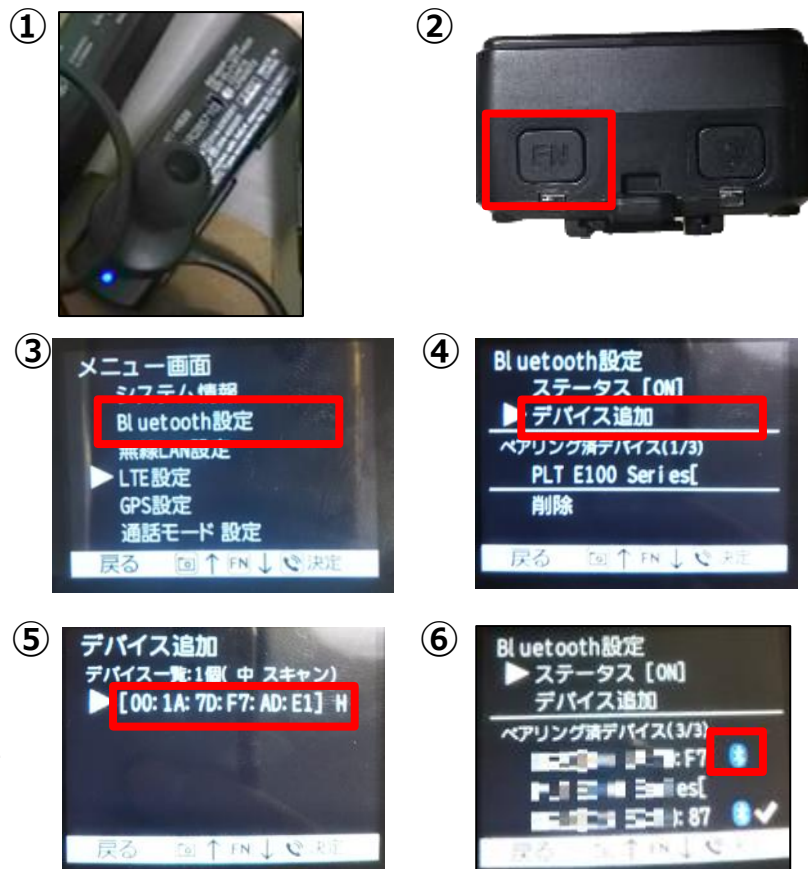
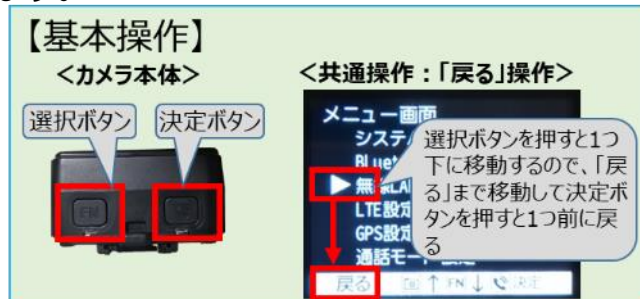
ヘッドセットの音を録音したい場合や通話をしたい場合はヘッドセットの設定を行います。

<注意>

- 接続するヘッドセット以外は電源をOFFにしておいてください。
- ヘッドセットの規格は「1-3.仕様詳細」で指定のものをご利用ください。
- ヘッドセットの接続中は、カメラ本体のマイクでの録音は行われなくなります。
- Bluetoothの接続先は十分にご確認ください。
- 「付録-11.マイクON/OFF設定方法」でマイク設定をONにしておいてください。

<手順>

- ①ヘッドセットのBluetoothをペアリングモードにします。
方法については各メーカーの説明書等をご確認ください。
- ②カメラ本体の上部にあるFNボタンを押します。
- ③ディスプレイに設定メニューが表示されます。FNボタンを押すと1つ下に移動するので、「Bluetooth設定」まで移動し、呼出しボタン(決定)を押し、決定をします。
- ④「ステータス」が「ON」以外の場合は「ON」に変更します。
次に「デバイス追加」を選択し、決定します。
- ⑤しばらくするとBluetoothスキャンに成功した機器が表示されます。
表示されない場合は再度スキャンをしてください(30秒程度かかることもあります)。表示されたら、接続したい機器を選択し、決定します。
- ⑥登録機器の一覧に遷移するので、Bluetoothのマークが表示されていれば成功です。
↓つづく



3-3. (初期作業)ヘッドセットの接続2

↓つづき

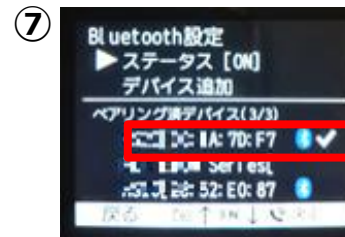
<手順>

⑦接続したいヘッドセットにレ点がついていない場合は、カメラ本体と接続されていません。

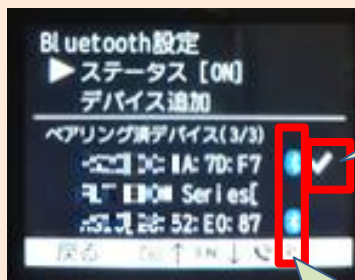
該当のヘッドセットをFNボタンで選択し、決定します。

右側にレ点が表示されれば成功です。

※レ点が見つからない場合や、ヘッドセットがうまく動作しない場合、ヘッドセットを再起動すると動作する場合があります。



【参考：表示の意味】



レ点のマークは、現在接続中の機器を示します。

Bluetoothのマークは、その機器が電源ONになっており、カメラと接続可能な状態であることを示します。

撮影・充電方法

4 - 1. カメラの電源ON/OFFの方法

カメラの撮影の手順を示します。

<前提>

・初期作業(3章)がすべて完了していること

<電源ONの手順>

- ①電源ボタンを長押しします。
ディスプレイが点灯します。

<電源OFFの手順>

- ①電源ボタンを長押しし、ディスプレイの画面が消えたら、カメラ本体のレンズカバーを上にあげます。

※レンズカバーを閉めていた場合は、一度カバーを開けてからお試ください。

- ②LEDランプを確認し、2つとも消灯していることを確認します。



4-2-1. 撮影方法(通常)

カメラの撮影の手順を示します。

<前提>

- ・初期作業(3章)がすべて完了していること
- ・電源が入っていること。
- ・カメラの撮影方向を変える方法は「3-2.ビューアでの映像確認」参照

<手順>

①カメラ本体のレンズカバーを下におろします。

②ディスプレイを確認し、サーバ状態が接続中であることを確認します。確認したら、液晶の▲が上を向くようにカメラの方向を変えます。

③ヘッドセットの電源を入れ、しばらくしてディスプレイにBluetooth状態が接続済みであることを確認します。(ヘッドセット未使用時は不要です。)

<その他の操作>

・暗がりではライトをつけたい場合

FNボタンを長押しすると、白色LEDランプが点灯します。

再度、FNボタンを長押しするとランプが消灯します。

・撮影したくない場合

レンズのカバーを上げると、撮影(録音・録画)を中止します。

レンズのカバーを下げると、撮影を再開します(再開の目安は30秒程度です)。

※撮影再開に時間がかかりますが、カメラの電源をOFFにする方法もあります。

・本体の端子カバー内のイヤホンプラグの使用 (Pocket2のみ)

イヤホンプラグをご利用する場合は同梱のプラグ変換機を使用する必要があります(右図参照)。端子カバーを開ける必要があるため、水気のある場所でご利用にならないでください。



<イヤホンプラグ変換接続のイメージ>

※Pocket2のみ対応



4-2-2. 撮影方法(ローカル録画)

ローカル録画によるカメラの撮影の手順を示します。

※ローカル録画機能については次のページを参照ください。

<前提>

- ・前ページの<前提>を満たすこと。
- ・ビューアのデバイス設定でストリーミングをONにしておくこと。

<手順>

①カメラ本体のレンズカバーを下におろします。

②カメラ本体の上部にあるFNボタンを押します。

③ディスプレイに設定メニューが表示されます。FNボタンを押すと1つ下に移動するので、「ローカル録画モード」まで移動し、呼出しボタン(決定)を押し、決定をします。

④「ステータス」をONにして、設定メニューを抜けてください。

⑤画面に戻るとメッセージが表示されますが、呼出しボタンを押すと消えます。アイコンが以下になっていることを確認し、撮影を開始してください。

ローカル録画モード：撮影中(📷) バックアップデータ：バックアップ中(📶)

⑥撮影が終了後、必ず④の「ステータス」をOFFにします。カメラに保存された映像をアップロードするには以下の方法があります。

(1)アンテナが立つ場所で電源ONのまま充電しながらレンズカバーを閉じる。

(2)ストリーミング録画を開始し、帯域が余っていれば自動でアップロードされる。

※(2)の方法で液晶のアイコンが「バックアップデータあり(📶)」の状態でしたら(1)をお試しください。

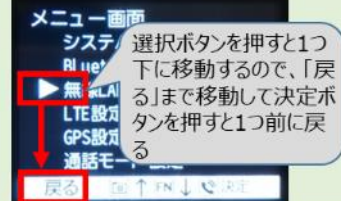
※撮影後は早めにアップロードしてください。

【基本操作】

<カメラ本体>



<共通操作：「戻る」操作>



①



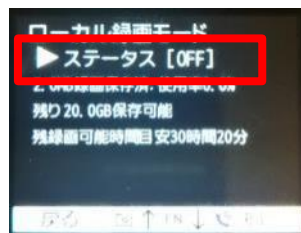
②



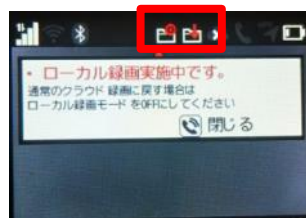
③



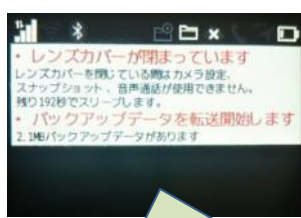
④



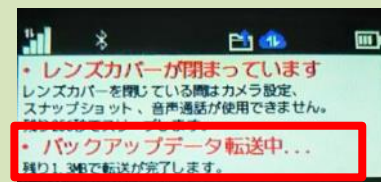
⑤



⑥



アップロードが開始されるとメッセージが変わります。



(補足) ローカル録画とは

ここでは、ローカル録画機能について説明します。

項目	内容
機能概要	カメラ本体に録画データを一時保存し、撮影後に保存したデータをアップロードすることができます。 撮影場所のNW環境が悪い等の理由で映像がサーバに保存できない場合にご利用いただけます。
最大保存量	最大保存量は20GB程度。保存時間の目安は以下の通り。 ・Pocket2：約30時間分 ・Pocket2Plus/V2：約15時間分 ※容量オーバー時は古いデータから上書きされます。
ビューア視聴	本機能を使用中は、サーバに映像は送られません。 そのため、ライブ映像の閲覧が不可になります。 保存した録画データについては、サーバにアップロード後にビューアで閲覧可能になります。
注意事項	撮影後はお早めに保存データのアップロードをお願いします。 電源をOFFにしても次回起動時にアップロードは可能ですが、録画プランの保存日数を過ぎるとサーバにデータをアップロードしてもサーバ側で破棄されます。

4-3. 充電方法

<手順>

- ①カメラ本体の電源ボタンを長押し、電源をOFFにします。
- ②クレードルをコンセントにさし、カメラを装着します。
クレードルへの装着は真上から下に向かって装着します。
- ③LEDランプの青色の点滅が終了し、青点灯となったら充電完了です。
- ④クレードルから抜く方法は図のように前に倒すように抜きます。
他の方向に倒したり、まっすぐに上に抜かないでください。破損の恐れがあります。
※Pocket2Plus/V2については横に倒して抜くことも可能です。

<その他>

- ・クレードルにさしたまま（充電をしながら）の撮影について
充電をしながらの撮影に関しては動作を保証いたしません。
クレードルは防水・防塵の仕様になっておりませんので、その点も含めご注意くださいようお願い致します。
- ・Pocket2Plus/V2では、モバイルバッテリーをDCジャックに接続して充電をしながらの撮影も可能ですが、水気のない室内でご利用ください。また、カメラ、バッテリー等が動かない状態でのご利用を想定していますので、モバイルバッテリーを接続したまま持ち運びするようなご利用はお避け下さい。



※付属のクレードル、ACアダプター、DCケーブル、推奨のモバイルバッテリー以外では充電しないでください
※モバイルバッテリーは5V/2A以上を推奨しております。（Pocket2Plus/V2のみ）

通話方法

5 - 1. (通話方法)ビューアの初回設定1～Windows/Mac共通

通話機能を使用するにあたって、必要なビューア設定の手順をChromeを例に示します。

<注意>

- ・ブラウザ毎に設定する必要があります(別PCでログインする場合は、再度設定が必要です)
- ・「1-3.仕様(ビューア)」を満たすブラウザをご利用ください。

<手順>

①ビューアにログインし、「ユーザー設定」をクリックし、「通知設定」をクリックしたあと、「ブラウザ通知設定」の「通知を許可する」を「ON」に変更します。

②シングルビューアの画面に遷移します。
ブラウザに対しての設定なのでどのカメラを選択しても構いません。

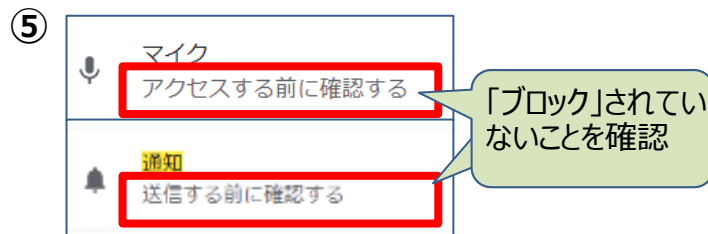
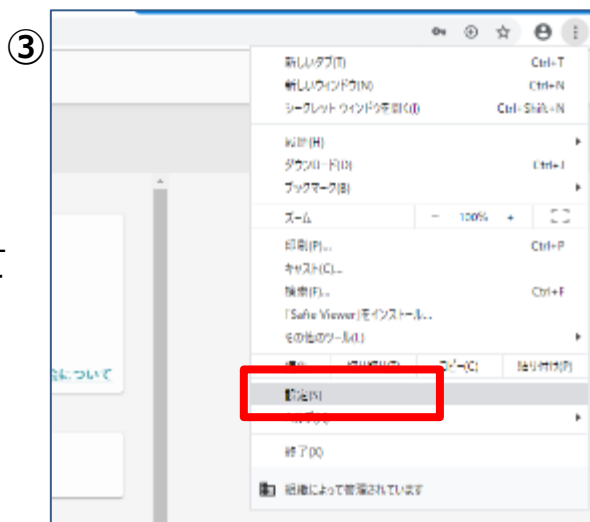
参考：「3-2.ビューアでの映像確認」
歯車アイコンをクリックし、表示されたポップアップで設定を「ON」に変更する。

③ブラウザの設定メニューを開き、「設定(ブラウザにより名称が異なります)」を開きます。

④検索窓で「通知」と入力し、
エンターキーを押します。
「サイトの設定」をクリックします。

⑤「マイク」と「通知」が「ブロック」されていないことを確認します。
「ブロック」になっていた場合は、
「～する前に確認する」に変更します。

↓つづく



5 - 1. (通話方法)ビューアの初回設定2～Windows編

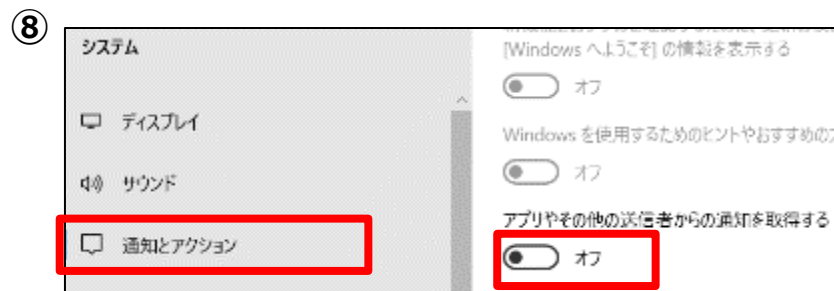
↓つづき(Macをご利用の方は次のページを参照ください)

<手順(Windowsの場合)>

⑥OSのWindowsマークを右クリックし、設定を選択します。

⑦「システム」を選択します。

⑧「通知とアクション」を選択し、「アプリやその他の送信者からの通知を取得する」を「オン」に変更する。



5 - 1. (通話方法)ビューアの初回設定2～Mac編

↓つづき(Windowsをご利用の方は前のページを参照ください)

<手順(Macの場合)>

⑥OSのAppleマークをクリックし、システム環境設定を選択します。

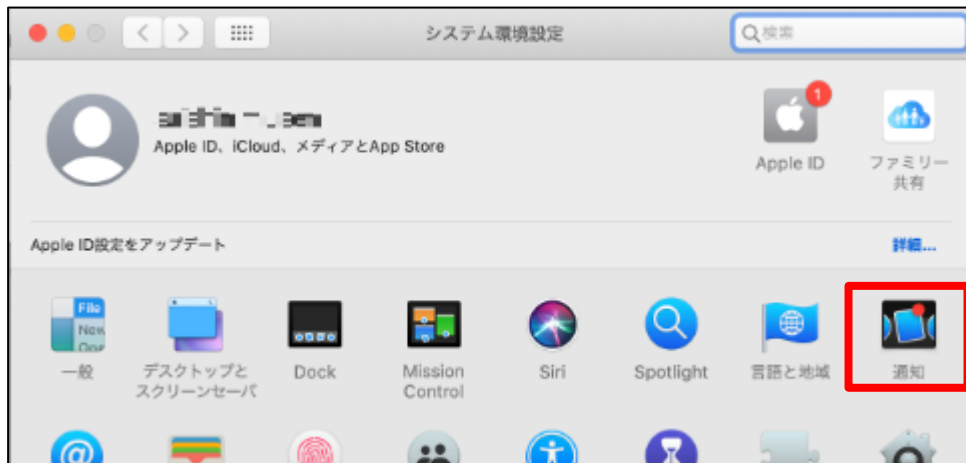
⑦「通知」を選択します。

⑧左メニューから使用するブラウザを選択し、右のプロパティ表示で「～からの通知を許可」を「オン」に変更します。

左メニューに同じブラウザが複数ある場合は全てに同じ設定をしてください。



⑦



⑧



5 - 2. (通話方法)アプリの初回設定1～iOS/Android共通

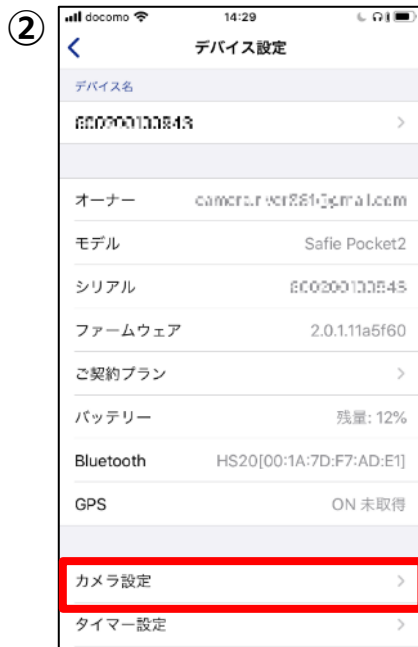
通話機能を使用するにあたって、必要なアプリ設定の手順を例に示します。

<注意>

- 参考画像はiOSバージョンの画像です。
- 本機能はアプリケーションのver3.1.0以上でご利用いただけます。

<手順>

- ①設定対象デバイスの映像視聴画面から、右上の歯車アイコンをタップし、設定画面に移動します。
- ②「カメラ設定」をタップし、カメラ設定画面に移動します。
- ③LIVE配信モードを「低遅延」に設定のうえ、着信許可を「ON」に設定します。



5 - 2. (通話方法)アプリの初回設定2～iOS編

↓つづき(Androidをご利用の方は次のページを参照ください)

<手順(iOSの場合)>

④iOS本体の「設定」より「通知」をタップして、Cloud Viewを選択

⑤「通知を許可」と、「バナー」にチェックを入れる。



5 - 2. (通話方法)アプリの初回設定2～Android編

↓つづき(iOSをご利用の方は前のページを参照ください)

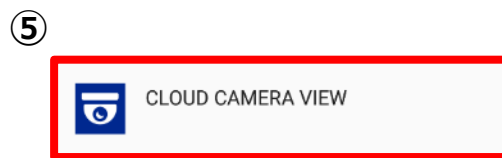
<手順(Androidの場合)>

④Android本体の「設定」より「通知」をタップします。

⑤CLOUD CAMERA VIEWを選択します。

⑥通知を許可します。

※端末機種やOSのバージョンによって設定画面は異なる場合がございます。



5 - 3. (通話方法)カメラの初回設定

カメラ本体のスピーカ・マイクで通話を行いたい場合の設定手順を示します。

<注意>

- ・通話はヘッドセットを使用する事をお勧めします。
- ・本設定をすることでカメラのスピーカから音声の内容が発せられ、会話を周りに聞かれる可能性がありますのでご注意ください。
- ・デフォルトはヘッドセットで通話する設定です。

<手順>

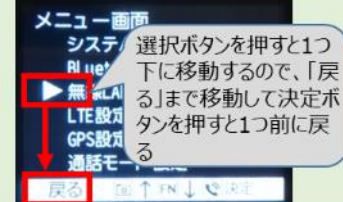
- ①カメラのFNボタンを押し、設定メニューを表示します。
- ②FNボタン(選択ボタン)を押し、「通話モード設定」を選択し、呼出しボタン(決定ボタン)を押して決定します。
- ③FNボタンを押し、「ヘッドセットのみ」を選択し、決定ボタンを押します。
- ④FNボタンを押し、「OFF」を選択し、決定ボタンを押します。
これでカメラ本体でも通話機能が利用できるようになります。(下図参照)

【基本操作】

<カメラ本体>



<共通操作:「戻る」操作>



【「通話モード設定」と通話時の動作】

項目	設定値	ヘッドセットの使用	カメラ本体の使用	説明
ヘッドセットのみ	ON	○	×	ヘッドセットのみ通話可能。
	OFF	○ 優先順位：1	○ 優先順位：2	ヘッドセットが接続されていればヘッドセットと通話。接続されていなければカメラ本体と通話。※ヘッドセット通話時に切断すると自動的にカメラ本体通話に切り替わる。

5 - 4. (通話方法)カメラからの呼出し～ビューアでの応答

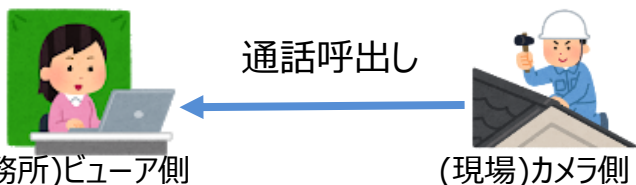
カメラからビューアを呼出して、通話機能を使用する手順を示します。

※アプリ版での応答手順は次ページ参照

<注意>

- ・「4-1.ビューアの設定」が完了している必要があります。
- ・カメラ本体と通話したい場合は、「5-3.カメラの設定」が完了している必要があります。
- ・ビューア側が**ログインしている**必要があります。ただし、**ブラウザは通常モードで開くこと**(シークレットモード等禁止)
- ・該当カメラのシングルビューアを開いているすべてのユーザーにプッシュ通知がされます。
- ・シェアアカウントで通話に参加する場合、「トークバックの利用」の権限が必要です。

<使用イメージ>



<手順>

①カメラ側：カメラ本体の呼出しボタンを長押しで呼び出しをします。

※呼び出しは対象となるビューア・アプリ全てに対して同時に行われます

②ビューア：プッシュ通知が表示されますので、カメラからの呼出しを確認してください。プッシュ通知をクリックすれば通話開始します。

※通知はOSやブラウザによってデザインが異なります。

※ビューア側でプッシュ通知が表示されない場合は以下のツールで動作確認ください。

「付録 - 9. ビューア側の通話プッシュ通知動作確認方法」

③カメラ側：ビューアが応答すると通話開始し、カメラにマイク設定変更のポップアップが表示されます。必要な場合、変更ください。

呼出しボタン：マイクのON/OFFの切り替え(カメラ本体のマイク設定にも反映される)

FNボタン：ポップアップを閉じる

④以下の操作をすると通話終了します。

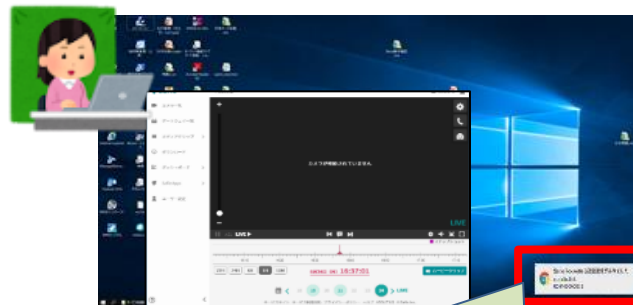
カメラ側：カメラ本体の呼出しボタンを長押しします。

ビューア側：電話アイコンを押します。

①



②



<プッシュ通知拡大図>



③



5 - 4. (通話方法)カメラからの呼出し～アプリでの応答

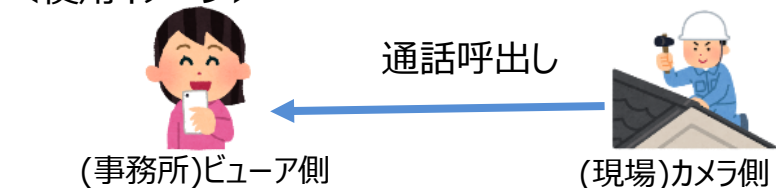
カメラからビューアを呼出して、通話機能を使用する手順を示します。

※ビューア版での応答手順は前ページ参照

<注意>

- ・「4-1.ビューアの設定」が完了している必要があります。
- ・カメラ本体と通話したい場合は、「5-3.カメラの設定」が完了している必要があります。
- ・アプリ側が**ログインしている**必要があります。ただし、アプリを起動している必要はありません。
- ・該当カメラにトークバック権限を持つユーザでログインしているすべてのアプリにプッシュ通知がされます。
- ・通話に際にはアプリ側でもヘッドセットの使用を推奨しています。

<使用イメージ>



<手順>

- ①カメラ側：カメラ本体の呼出しボタンを長押しで呼び出しをします。
※呼び出しは対象となるビューア・アプリ全てに対して同時に行われます
- ②アプリ：プッシュ通知が表示されますので、カメラからの呼出しを確認してください。プッシュ通知をタップすれば通話開始します。
※通知はOSによってデザインが異なります。
- ③カメラ側：ビューアが応答すると通話開始し、カメラにマイク設定変更のポップアップが表示されます。必要な場合、変更ください。
呼出しボタン：マイクのON/OFFの切り替え(カメラ本体のマイク設定にも反映される)
FNボタン：ポップアップを閉じる
- ④以下の操作をすると通話終了します。
カメラ側：カメラ本体の呼出しボタンを長押しします。
アプリ側：「終了する」をタップします。



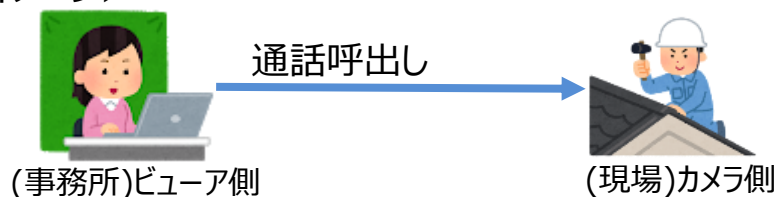
5-5. (通話方法)ビューアからの呼出し

ビューアからカメラを呼出して、通話機能を使用する手順を示します。

<注意>

- ・「4-2.撮影方法」、「5-1.ビューアの設定」が完了している必要があります。
- ・通話機能は手がふさがっている場合でも通話できるように設計されています。カメラ側が通話可能な状態（「4-2.撮影方法」の操作が完了している状態）であれば、カメラ本体の操作なしに自動的に通話開始します。

<使用イメージ>



<手順>

①ビューア側：ビューアにログインし、該当カメラのシングルビューアの画面に遷移し、通話アイコンをクリックします。

参考：「3-2.ビューアでの映像確認」

②カメラ側：カメラ側が通話可能な場合は、呼び出し音が数回、鳴った後、自動的に接続し通話できるようになります。同時にカメラにマイク設定変更のポップアップが表示されます。必要な場合、変更ください。

呼出しボタン：マイクのON/OFFの切り替え(カメラ本体のマイク設定にも反映される)

FNボタン：ポップアップを閉じる

※相手が通話に出られない場合は、接続できません。

通話に出られない状況としては、カメラの電源がOFF、別のビューア・アプリと通話中、「通話モード設定」の「ヘッドセットのみ」を「ON」に設定をしているのにヘッドセットを接続していない、カメラのレンズカバーが閉じている、などです。



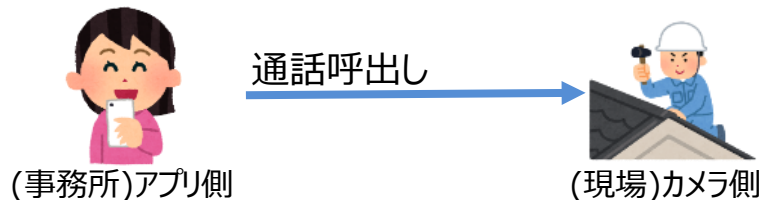
5 - 6. (通話方法)アプリからの呼出し

アプリからカメラを呼出して、通話機能を使用する手順を示します。

<注意>

- ・「4-2.撮影方法」、「5-2.アプリの初回設定」が完了している必要があります。
- ・通話機能は手がふさがっている場合でも通話できるように設計されています。カメラ側が通話可能な状態（「4-2.撮影方法」の操作が完了している状態）であれば、カメラ本体の操作なしに自動的に通話開始します。
- ・通話に際にはアプリ側でもヘッドセットの使用を推奨しています。

<使用イメージ>



<手順>

①アプリ側：アプリでログインし、該当カメラのシングルビューアの画面に遷移し、「×」、「通話」、「通話アイコン」の順にタップ。

②カメラ側：カメラ側が通話可能な場合は、呼び出し音が数回、鳴った後、自動的に接続し通話できるようになります。同時にカメラにマイク設定変更のポップアップが表示されます。必要な場合、変更ください。

呼出しボタン：マイクのON/OFFの切り替え(カメラ本体のマイク設定にも反映される)

FNボタン：ポップアップを閉じる

※相手が通話に出れない場合は、接続できません。

通話に出れない状況としては、カメラの電源がOFF、別のビューア・アプリと通話中、「通話モード設定」の「ヘッドセットのみ」を「ON」に設定をしているのにヘッドセットを接続していない、カメラのレンズカバーが閉じている、などです。



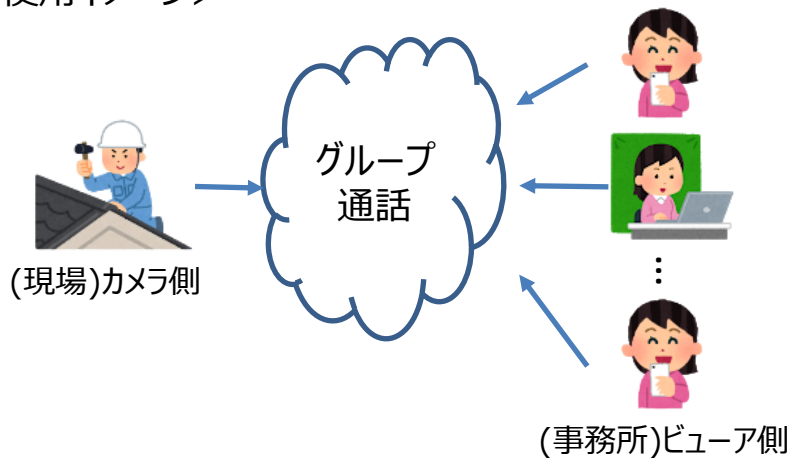
5-7. (通話方法)ビューアでのグループ通話

一台のカメラと複数の視聴者で映像と会話を共有する機能です。ここではグループ通話にビューアで参加する手順を示します。

<注意>

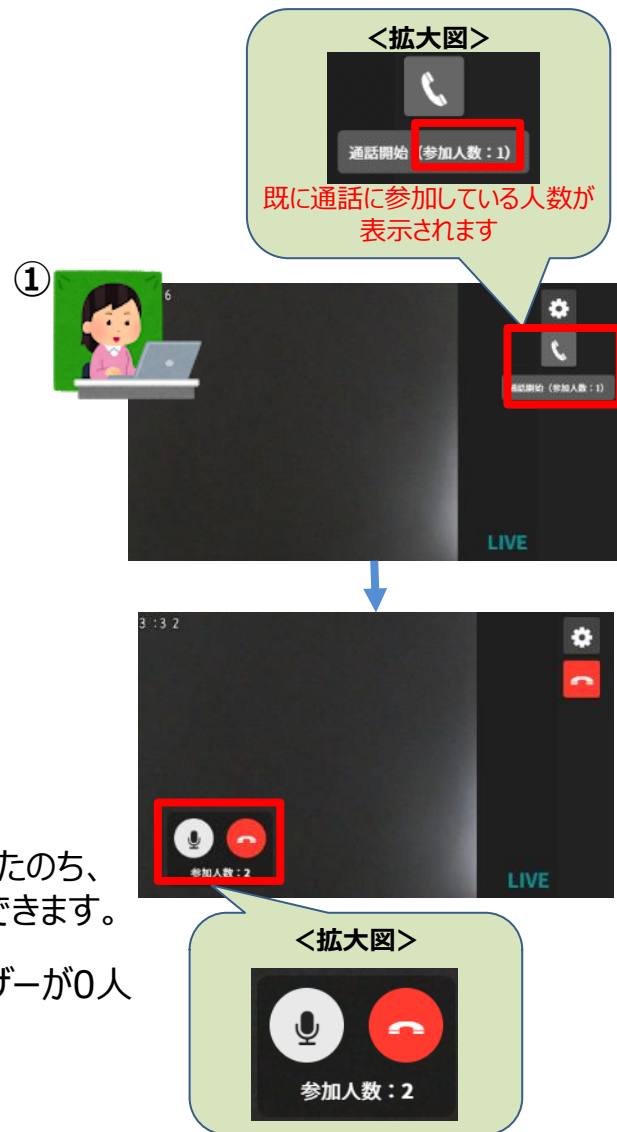
- ・「4-2.撮影方法」、「5-1.ビューアの設定」が完了している必要があります。
- ・カメラ本体のファームウェアを最新版にご利用ください。
- ・最大でオーナーアカウント含めて16名が同時に通話をご利用いただけます。
- ・シェアアカウントで通話に参加する場合、「トークバックの利用」権限が必要です。

<使用イメージ>



<手順>

- ①ビューア側：ビューアにログインし、該当カメラのシングルビューアの画面に遷移したのち、他のユーザーが通話中の状態で通話アイコンをクリックするとグループ通話に参加できます。
- ②切断方法：通常の通話と同様です。カメラ側から切断するか、通話中のユーザーが0人になった時点で通話が終了します。



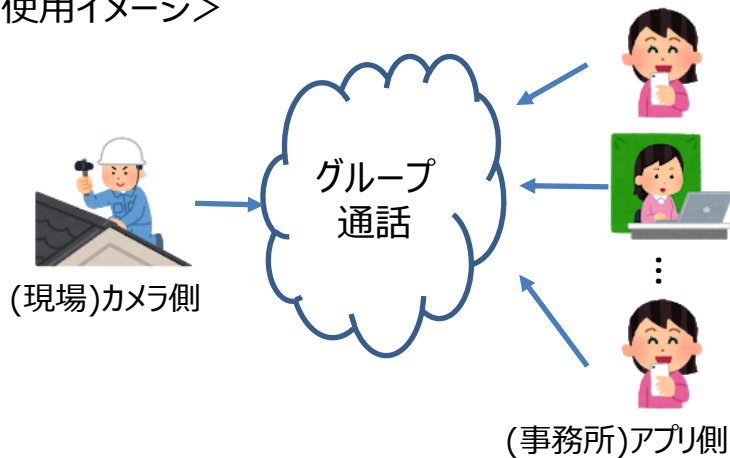
5 - 8. (通話方法)アプリでのグループ通話

グループ通話機能にアプリで参加する手順を示します。

<注意>

- ・「4-2.撮影方法」、「5-2.アプリの初回設定」が完了している必要があります。
- ・カメラ本体のファームウェアを最新版にご利用ください。
- ・最大でオーナーアカウント含めて16名が同時に通話をご利用いただけます。
- ・シェアアカウントで通話に参加する場合、「トークバックの利用」権限が必要です。
- ・通話にはアプリ側でもヘッドセットの使用を推奨しています。

<使用イメージ>



<手順>

①アプリ側：アプリでログインし、該当カメラのシングルビューアの画面に遷移し、「×」、「通話」、「通話アイコン」の順にタップ。
他のユーザーが通話中の状態で通話アイコンをタップするとグループ通話に参加できます。

②切断方法：通常の通話と同様です。カメラ側から切断するか、通話中のユーザーが0人になった時点で通話が終了します。



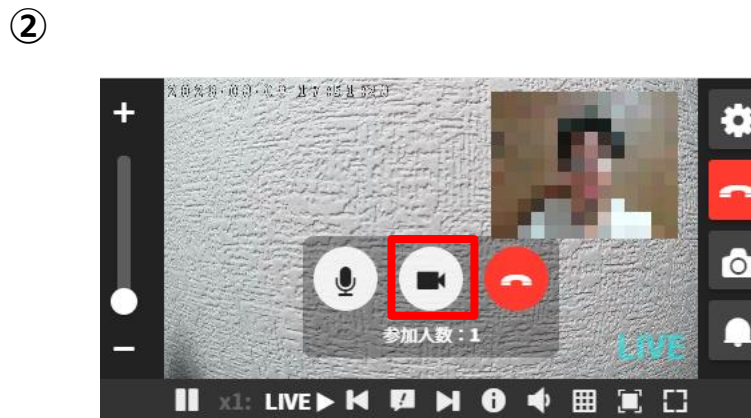
5-9. (通話方法)遠隔臨場モード

遠隔臨場モードの機能概要と利用手順について示します。


<機能概要>

- ・ビューアの画面上にビューア操作者のカメラ映像(内蔵WEBカメラやUSBカメラ等)をワイプで表示することができます。例えば、実施記録の撮影時に監督員等をワイプ画面で表示させた状態で証拠画像の撮影ができます。
- ・クラウドに録画される映像やビューアのスナップショット機能で撮影した画像にはワイプ映像は残りません。
- ・記録が必要な場合はPCのスクリーンショット等を利用して画面キャプチャをする必要があります。

※PCのビューアのみ対応 (2023年8月現在)



<手順>

- ①デバイス設定の「設定タブ」をクリックし、詳細設定内の「遠隔臨場モード」をONにします
- ②通話を開始し、遠隔臨場ボタンを押すとPCのカメラで撮影された映像がワイプ映像に表示されます

GPS機能

6 - 1. (GPS機能)ブラウザの初回設定～Windows/Mac共通

PCでGPS機能のうち軌跡表示機能を使用するにあたって、ブラウザのハードウェアアクセラレーション機能を有効にしてください。例としてChromeでのブラウザ設定の手順を示します。

<注意>

- ブラウザ毎に設定する必要があります(別PCでログインする場合は、再度設定が必要です)
- 「1-3.仕様(ビューア)」を満たすブラウザをご利用ください。
- ハードウェアアクセラレーションはGPUの搭載されていないPCでは使用できません。

<手順>

- ① Chromeを起動し、画面右上にある「:」をクリックし、「設定」をクリックする。
- ② 「詳細設定」をクリックして詳細設定一覧を表示し、「システム」をクリックする。
- ③ 「ハードウェアアクセラレーションが使用可能な場合は使用する」を有効にします。有効にすると、「再起動」アイコンが表示されるのでクリックしてChromeを再起動します。

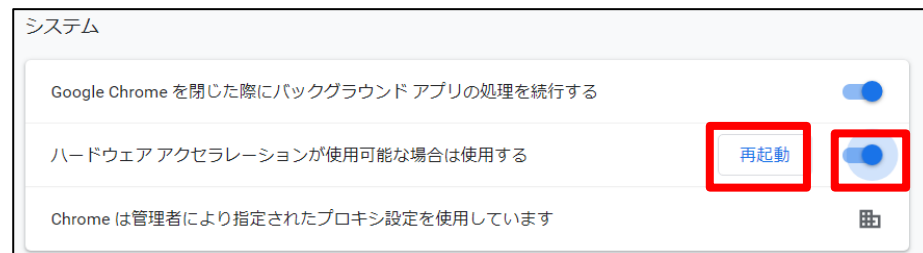
①



②



③



6 - 2. (GPS機能)カメラの初回設定

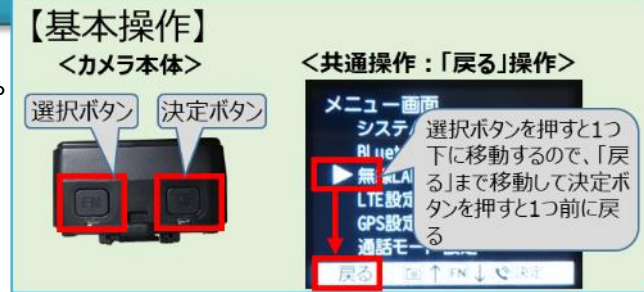
GPS機能をご利用いただくにあたって、必要なカメラの初回設定の手順を示します。
下記手順に従って、カメラ本体のGPS機能をONにしてください。

<注意>

- ・本設定をすることで位置情報権限を持つシェアユーザーからも位置情報が見られる状態になります。
- ・初回設定後、GPSの電波環境の良い場所でご利用ください。(遮蔽物等がある場所は避けてください)

<手順>

- ①カメラのFNボタンを押し、設定メニューを表示します。
- ②ディスプレイに設定メニューが表示されます。FNボタン(選択ボタン)を押すと1つ下に移動するので、「GPS設定」まで移動し、呼出しボタン(決定ボタン)を押します。
- ③FNボタンを押し、「ステータス」を選択し、呼出しボタンを押します。
- ④FNボタンを押し、「ON」を選択し、呼出しボタンを押します。



①



②



③



④



6 - 3. (GPS機能)デバイスのGPS設定とGPS受信状況の確認

ビューア上でカメラのGPS設定とGPS受信状況を確認できます。

<注意>

- 位置情報権限を持たないシェアユーザーは緯度・経度の情報は表示されません。
※位置情報権限はシェアユーザーの権限のうちの一つです。
- GPSの電波環境の良い場所をご利用ください。(遮蔽物等がある場所は避けてください)

<手順>

①「デバイス設定」→「一般」の順にクリックし、設定画面を開く

②デバイス設定内の「GPS」の表示内容からデバイスのGPS設定とGPS受信状況を確認できます。



デバイスのGPS設定	GPS受信状況	デバイス設定内の「GPS」の表示	
		オーナー/位置情報権限あり	位置情報権限なし
ON	あり	“受信中 (緯度xxx/経度xxx)”	“ON”
	なし	“ON 未取得”	“ON”
OFF	-	“OFF”	“OFF”

6 - 4. (GPS機能)マップビューアの使用～立ち上げ

マップビューアの立ち上げ手順を示します。
マップビューアはAppsからご利用いただけます。

<注意>

- ・「4-2.撮影方法」、「6-1.カメラの初回設定」が完了している必要があります。
- ・シェアアカウントでマップビューアをご利用の場合、「位置情報」の権限が必要となります。

<利用条件>

すべての機能を正常に使うためには以下のOS環境が必要となります。

- ・Windows 10
- ・MacOS v10.12以上

※軌跡表示機能をご利用になるためにはPCにGPUが搭載されている必要があります。

<手順>

①左メニューの「Apps」にカーソルを合わせ、「マップビューア」をクリックします。

②マップビューアの画面に推移します。

※機能の説明は次ページ参照

①



②

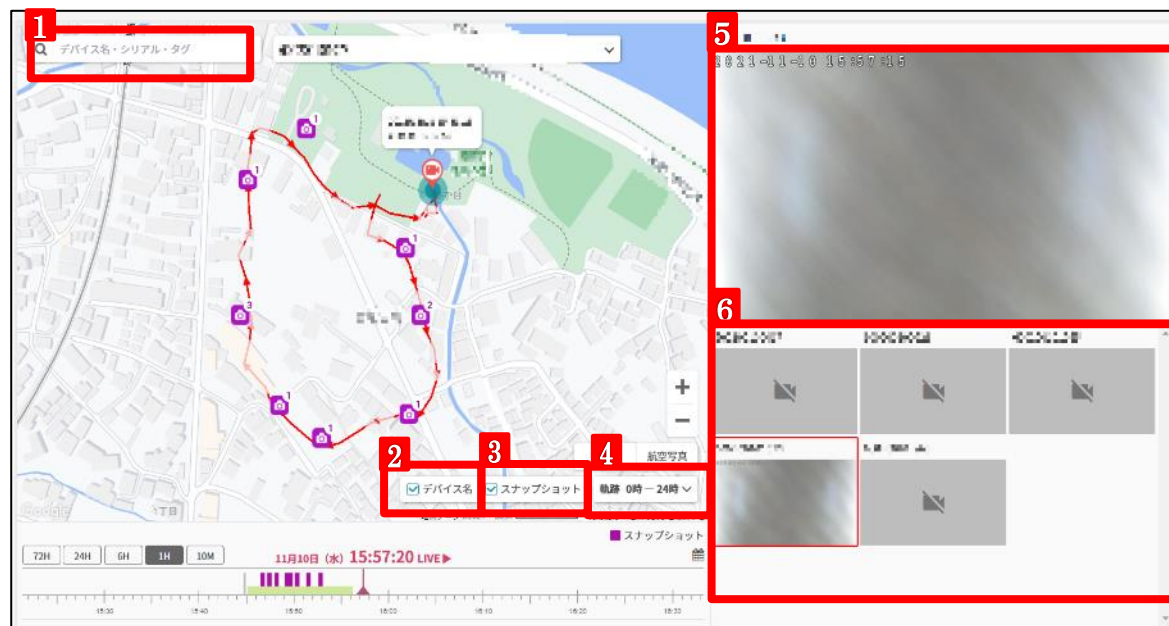


6-5. (GPS機能)マップビューアの機能説明～基本機能

マップビューアの基本機能を示します。

<注意>

- ・「4-2.撮影方法」、「6-1.カメラの初回設定」が完了している必要があります。
- ・シェアアカウントでマップビューアをご利用の場合、「位置情報」の権限が必要となります。



※GPS未取得の場合、デバイスの位置は最後に受信した位置がグレーアイコンでマップ上に表示されます

1 検索・フィルタリング
デバイス名・シリアル・タグでマップ上・デバイス一覧に表示するカメラを絞り込みます。

2 デバイスの表示
マップ上にデバイス名を表示するかどうかを選択できます。デバイス名はマップアイコンの上に表示されます。

3 スナップショット撮影位置を表示
スナップショットが撮影された位置と枚数をマップ上に表示します。マップ上のスナップショットアイコンをクリックすると、スナップショットがポップアップします。

4 移動軌跡の表示変更
マップビューア上に表示される撮影時の移動軌跡を、期間指定と時間指定で変更することができます。詳細はp43を参照。

5 ストリーミング画面
マップ上またはカメラ一覧から選択したカメラの映像がストリーミングされます。

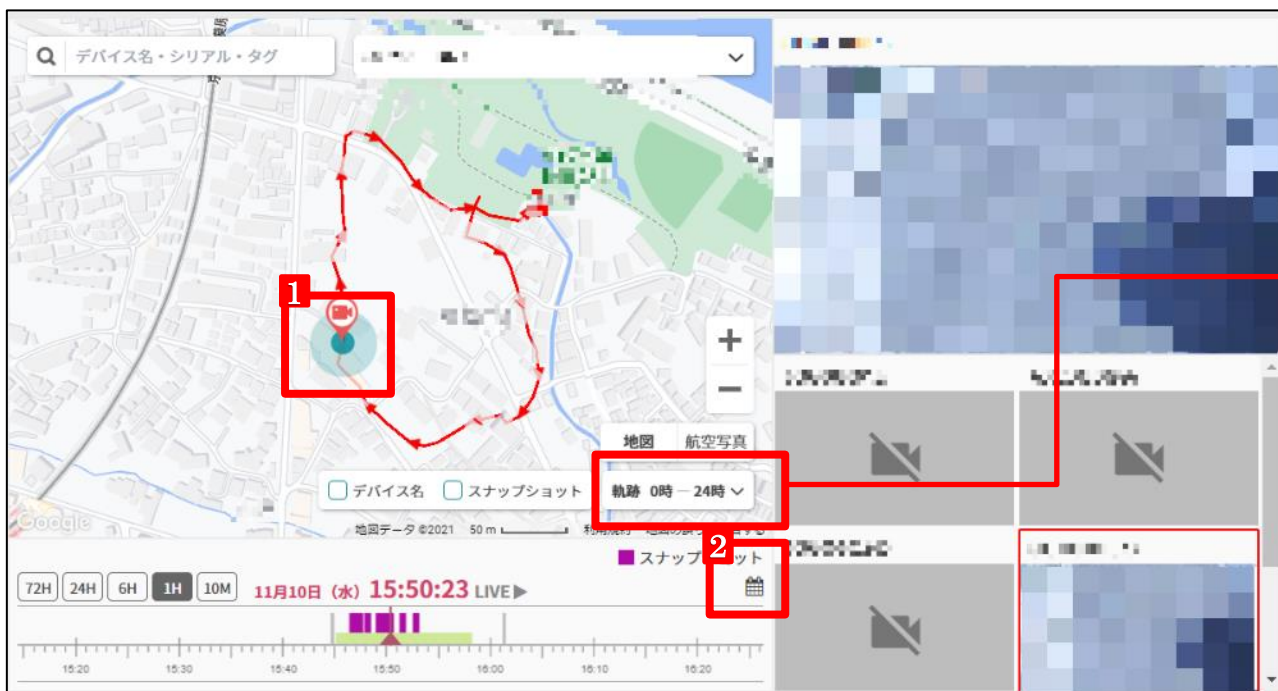
6 カメラ一覧
ログインしているアカウントがGPS権限を持っているカメラを一覧表示します。選択中のカメラには赤枠がつかます。

6-6. (GPS機能)マップビューアの機能説明～移動軌跡の表示機能

移動軌跡の表示機能について詳細に記載します。

<注意>

- ・「4-2.撮影方法」、「6-1.カメラの初回設定」が完了している必要があります。
- ・シェアアカウントでマップビューアをご利用の場合、「位置情報」の権限が必要となります。



1 撮影位置を選択

マップに表示された移動軌跡上の位置を選択すると、指定された地点で撮影された映像がストリーミング表示されます。

2 カレンダー

ストリーミング表示させたい録画映像の日付を指定できます。

3 軌跡の設定(期間指定)

0～24時の範囲で軌跡を表示させたい時間を指定することができます。

4 軌跡の設定(時間指定)

タイムラインの時刻を起点に前後の時間を指定して軌跡を表示させることができます。

(例) タイムラインの時刻が12:00で前後1時間を指定

→11:00～13:00の軌跡が表示

6-7. (GPS機能) 想定トラブル(1)

マップビューア機能に関して想定されるトラブルを記載します。

トラブル	回答
位置情報が実際の位置とずれている/ 位置情報が表示されない	GPSの強度が弱い場合、位置情報が実際の位置とずれる、もしくは位置情報が表示されないことがあります。屋内など上空が開けていない場合、周りに遮蔽物がある場合、雲が厚いなど天候が悪い場合等はGPSの強度が弱くなる場合があります。
位置情報を削除する方法は？	位置情報は録画データと連動して保存されており、録画データの削除をすることで位置情報も削除できます。
カバーを閉じた状態で 位置情報を表示できるか？	スリープ状態に遷移する前であれば位置情報を表示できます。完全なスリープ状態になると位置情報が受信されなくなり、位置情報の表示が更新されなくなります。
同じ位置でも受信できないことがある	特に初回や、長時間おいて使用する場合、位置の測定の安定に時間がかかるため、安定した環境での電波受信が必要となります。
ビューア上にマップビューアが表示されない	マップビューアはPocket2のオーナーもしくはシェアユーザーの場合に表示されます。ご利用中のアカウントがPocket2のオーナーもしくはシェアユーザーであるかご確認ください。
マップビューア上にデバイスが表示されない	該当デバイスの位置情報に関する権限があるかご確認ください。※以前からご利用いただいていたシェアユーザーはデフォルトでは位置情報権限がOFFになっています。デバイスの権限設定で「位置情報」をONにしてください。
「ハードウェアアクセラレーションが無効のため軌跡は表示できません。軌跡を表示するにはハードウェアアクセラレーション有効にしてください」というエラーが表示される。	ハードウェアアクセラレーションを有効にする必要があります。 詳細は6-1. (GPS機能)ブラウザの初回設定～Windows/Mac共通を参照してください。

付録

付録－1．Wi-Fi接続設定方法(SSIDの登録)

Wi-Fiを利用したクラウド接続の手順を示します。

<注意>

- ・「1-3.仕様」を満たす必要があります。
- ・「1-4.ネットワーク」に記載の上りスループット(目安)が常に利用可能なWi-Fiに接続してください。
- ・登録済のSSIDを登録する場合、次ページのSSID削除を先に実施します。

<手順>

- ①ブラウザで以下のURLにアクセスします。
<https://safie.link/app/network/>
「無線LANを設定する」を押し、SSIDの情報を入力して「次へ」ボタンを押すと右のようにQRコードが生成されます。QRコードを表示したままにしてください。

- ・SSID
- ・パスワード
- ・アクティブスキャン(ステルスモードの利用有無を設定)

- ②カメラ本体のFNボタンを押し、設定メニューを表示します。

- ③ FNボタンで「QRコードスキャン」を選択し、決定します。

- ④QRコードをスキャンする画面が表示されるので、画面内の赤枠に①のQRコードが重なるように映します。スキャンに成功したら、設定メニューに戻ります。

- ⑤設定メニューから「WLAN」を選択し、決定します。

- ⑥上記①で入力したSSIDを選択し、決定します。

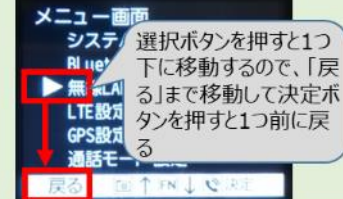
- ⑦WLANの画面に戻り、先頭に[優先]がついていることとステータスが「ON」になっていることを確認。「ON」になっていない場合は「ON」に変更します。

【基本操作】

<カメラ本体>



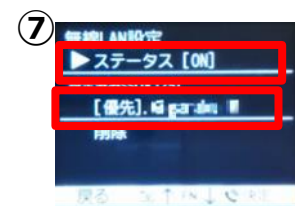
<共通操作：「戻る」操作>



(参考)
生成QRコードイメージ



<QRコード読取成功時の画面>



付録－1．Wi-Fi接続設定方法(SSIDの削除)

Wi-FiのSSID情報を削除する手順を示します。

<注意>

- 登録済みのSSIDは登録できないので、本手順でSSID削除後に登録します。

<手順>

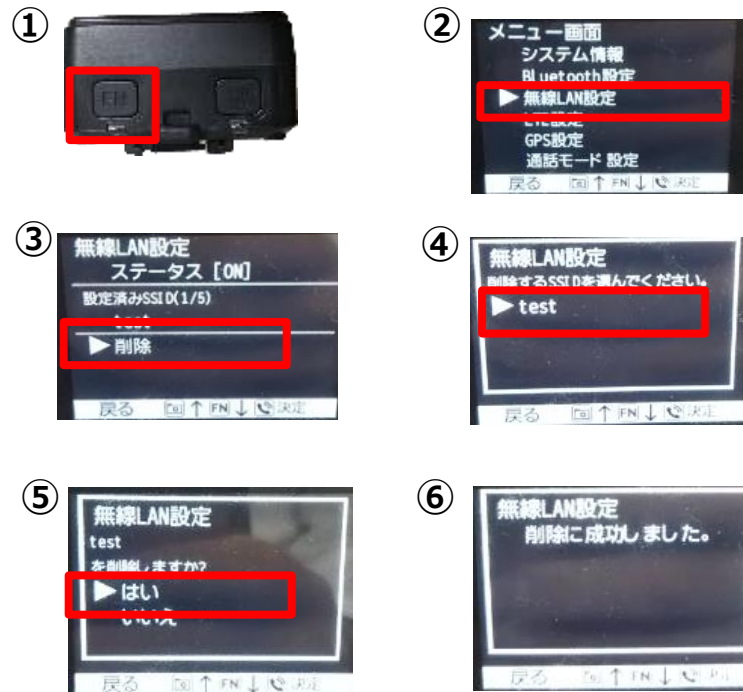
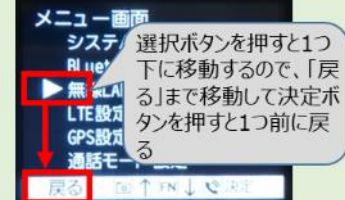
- ①カメラ本体のFNボタンを押し、設定メニューを表示します。
- ②FNボタンで「無線LAN設定」を選択し、決定します。
- ③FNボタンで「削除」を選択し、決定します。
- ④削除対象のSSIDをFNボタンで「削除」を選択し、決定します。
- ⑤FNボタンで「はい」を選択し、決定します。
- ⑥この画面で削除作業は終了です。

【基本操作】

<カメラ本体>



<共通操作：「戻る」操作>



付録－２－１．ファームウェアのアップデート方法

ファームウェア(FW)のアップデートの手順を示します。

<注意>

- ・「4-2.撮影方法」の操作が完了している必要があります。
- ・レンズカバーを開いた状態で実施してください。
- ・目安として10分程度時間が掛かります。
- ・アップデートの間は撮影等の操作が一切できません。
- ・途中で電源を切らないようにお願いします。電源を切ってしまった場合は再度実施してください。

<手順>

①カメラのFNボタンを押し、設定メニューを開きます。

② FNボタンで「ファームウェア更新」を選択し、決定します。

③以下のバージョンをそれぞれ確認します。

- ・現在のファームウェア
- ・最新のファームウェア

上記2つのバージョンが異なる場合は「ファームウェア更新」を選択し、決定します。

バージョンが同じ場合は最新ですので何もする必要はありません。

④「はい」を選択し、決定します。

右図④のように画面が遷移しますが、完了までに10分程度かかります。また、途中で画面が真っ暗になりますがバックグラウンドで処理がされているので、何もせずにお待ちください。

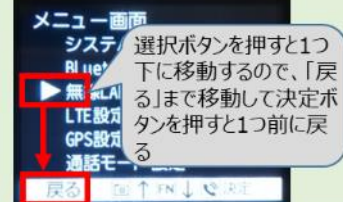
※完了後は自動的に再起動し、レンズカバーが開いていれば自動的に撮影を再開します。

【基本操作】

<カメラ本体>



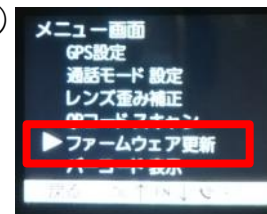
<共通操作：「戻る」操作>



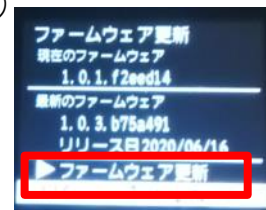
①



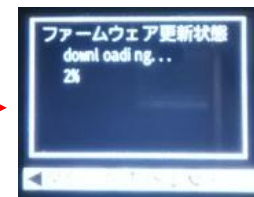
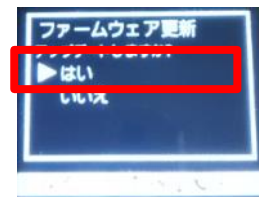
②



③



④



付録－２－２．ファームウェア更新通知

ファームウェア(FW)のアップデート更新通知(ポップアップ)について説明します。

<アップデート更新通知機能について>

- ・FWアップデートの更新通知は、電源ON時とスリープ復帰時に最新FWがある場合に毎回ポップアップ表示される機能です。
- ・ポップアップ表示から直接ファームウェア更新の画面(前ページ参照)へ遷移できます。

<注意>

- ・電源ONかスリープ復帰したタイミングでクラウドに接続できない場合はポップ表示しません。
- ・FWアップデートの操作時の注意点は前ページと同様です。

<更新通知ポップアップからのFW更新手順>

①最新FWがある場合は、右図のようなポップアップが表示されます。アップデートを行いたい場合、決定ボタンを押します。
※すぐに録画を始めたい場合など、今はアップデートを行いたくない場合はFNボタンを押してポップアップを抜けます。

②「ファームウェア更新」を選択し、決定します。

③「はい」を選択し、決定します。

右図③のように画面が遷移しますが、完了までに10分程度かかります。また、途中で画面が真っ暗になりますがバックグラウンドで処理がされていますので、何もせずにお待ちください。

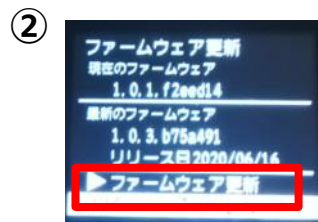
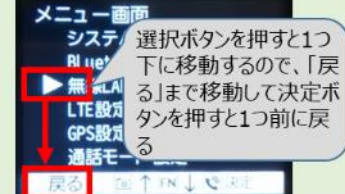
※完了後は自動的に再起動し、レンズカバーが開いていれば自動的に撮影を再開します。

【基本操作】

<カメラ本体>



<共通操作：「戻る」操作>



付録－ 3 . カメラのLED状態

カメラの動作に異常がある場合は、以下の表を参考にして対処を行ってください。

<LEDの場所と名称>



LED名	ライトの色	状態	備考/対処
充電状態	消灯	充電していない。	特に問題ありません。
	青点滅	充電途中。	特に問題ありません。
	青点灯	充電完了。	特に問題ありません。
動作状態	黄点灯	カメラ起動処理中、 もしくはスリープ状態(レンズカバー閉状態)	レンズカバーを開いてください。レンズカバーを開いても問題が解決しない場合はサポートセンターまでお問い合わせください。
	緑点滅	サーバー接続処理中 もしくは、ローカル録画開始	ローカル録画モードをONにした場合は一時的に緑点滅となります。その場合を除いてこの状態が長時間続いている場合、ネットワークに問題がある可能性があります。お客様のネットワーク環境のご確認をお願いします。ネットワーク接続が不安定な場合はビューアの映像画質設定で画質を下げる事で、改善できる場合がありますのでお試しください。
	緑点灯	ストリーミング中	映像をご覧いただける状態です。(正常な状態です。)
	黄と緑の交互点滅	ストリーミングOFF	ビューア設定等でストリーミングをOFFにしています。撮影を再開したい場合はビューアにログインし、該当カメラの設定「ストリーミング」をONにしてください。それでも解決しない場合はサポートセンターまでお問い合わせください。
	赤と緑の交互点滅	ファームウェアの更新処理中	映像は映りません。そのまま10分ほどお待ちください。終了後、レンズカバーが開いている場合は、自動的にストリーミングがスタートします。 ※ファームウェアの更新中は電源をOFFにしないでください。
	黄点滅	アクティベーション処理中 もしくは、内部ストレージアップロード中	この状態が長時間続く場合は、カメラの再起動をお試しください。問題が解決しない場合はサポートセンターまでお問い合わせください。
	赤点滅	エラー発生	この状態が長時間続く場合は、カメラの再起動をお試しください。問題が解決しない場合はサポートセンターまでお問い合わせください。

付録－４．ディスプレイ上の各ステータスアイコン

カメラの動作に異常がある場合は、以下の表を参考にして対処を行ってください。

<アイコンの場所と名称>

























































- ① : LTE状態
- ② : WLAN状態
- ③ : Bluetooth状態
- ④ : マイク状態
- ⑤ : 映像補正状態

- ⑥ : ローカル録画モード
- ⑦ : バックアップデータ
- ⑧ : サーバ状態
- ⑨ : 通話状態
- ⑩ : GPS状態
- ⑪ : 電池残量

アイコン名	状態	備考																
① LTE状態	<table border="1"> <tr> <td>OFF設定</td> <td>SIMエラー</td> <td>モジュールエラー</td> <td>未接続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">接続済み</td> <td colspan="2">通信中</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	OFF設定	SIMエラー	モジュールエラー	未接続					接続済み		通信中						カメラ本体の設定メニューで設定したLTEのON/OFFの状態を表示します。 LTEがONの時は、LTEの電波強度を表します。反映までにタイムラグがあります。 SIMの挿入が認識できない場合はSIMエラーを表示します。 LTEモジュールの故障の場合はモジュールエラーを表示します。
OFF設定	SIMエラー	モジュールエラー	未接続															
接続済み		通信中																
② WLAN状態	<table border="1"> <tr> <td>OFF設定</td> <td>未接続</td> <td>接続済み</td> <td>通信中</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	OFF設定	未接続	接続済み	通信中					カメラ本体の設定メニューで設定したWLANのON/OFFの状態を表示します。 WLANがONの時は、Wi-Fiの電波強度を表します。反映までにタイムラグがあります。								
OFF設定	未接続	接続済み	通信中															
③ Bluetooth状態	<table border="1"> <tr> <td>OFF設定</td> <td>未接続</td> <td>接続済み</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	OFF設定	未接続	接続済み				カメラ本体の設定メニューで設定したBluetoothのON/OFFの状態を表示します。 BluetoothがONの場合は、未接続か接続成功しているかを表示します。反映までにタイムラグがあります。										
OFF設定	未接続	接続済み																
④ マイク状態	<table border="1"> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ON	OFF			カメラ本体の設定メニューで設定したマイクのON/OFFの状態を表示します。 詳しくは付録の該当の説明をご覧ください。												
ON	OFF																	






付録－４．ディスプレイ上の各ステータスアイコン

↓つづき

アイコン名	状態	備考								
⑤ 映像補正状態	<table border="1"> <tr> <td>補正なし</td> <td>手振れ補正</td> <td>広角補正</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	補正なし	手振れ補正	広角補正				Pocket2Plusのみの機能です。 映像補正設定の状態を表します。 カメラ本体の設定メニューで設定変更できます。		
補正なし	手振れ補正	広角補正								
										
⑥ ローカル録画モード	<table border="1"> <tr> <td>OFF設定</td> <td>ON(非撮影)</td> <td>ON(撮影中)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	OFF設定	ON(非撮影)	ON(撮影中)				ローカル録画機能で保存したバックアップデータの状態を表します。 反映までにタイムラグがあります。 起動時にもクラウド接続までの短時間のバックアップデータが蓄積される場合があります。		
OFF設定	ON(非撮影)	ON(撮影中)								
										
⑦ バックアップデータ	<table border="1"> <tr> <td>バックアップデータなし</td> <td>バックアップデータあり</td> <td>バックアップ中</td> <td>アップロード中</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	バックアップデータなし	バックアップデータあり	バックアップ中	アップロード中					サーバと接続し、映像を送信できているかを表します。 反映までにタイムラグがあります。 「ストリーミング設定OFF」は、ビューアのデバイス設定でストリーミングをOFFにした場合に表示されます。
バックアップデータなし	バックアップデータあり	バックアップ中	アップロード中							
										
⑧ サーバ状態	<table border="1"> <tr> <td>未接続または非ストリーミング</td> <td>接続中 (ストリーミング設定OFF)</td> <td>接続中 (ストリーミング中)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	未接続または非ストリーミング	接続中 (ストリーミング設定OFF)	接続中 (ストリーミング中)				通話中かどうかを表します。		
未接続または非ストリーミング	接続中 (ストリーミング設定OFF)	接続中 (ストリーミング中)								
										
⑨ 通話状態	<table border="1"> <tr> <td>未接続</td> <td>通話中</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	未接続	通話中			GPSの状態を表します。				
未接続	通話中									
										
⑩ GPS状態	<table border="1"> <tr> <td>未接続</td> <td>未受信</td> <td>受信済</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	未接続	未受信	受信済				電池残量を表します。 おおよその目安です。		
未接続	未受信	受信済								
										

付録－４．ディスプレイ上の各ステータスアイコン

↓つづき

アイコン名	状態					備考
⑪ 電池残量	極小 0%～9%	小 10%～39%	中 40%～69%	大 70%～89%	満充電 90%～100%	ローカル録画の状態を表します。 カメラ本体の設定メニューでON/OFFを制御できます。 反映までにタイムラグがあります。 詳しくは付録の該当の説明をご覧ください。
						

付録－ 5. Wi-Fiデフォルト設定方法

カメラ本体のWi-Fi(WLAN)の設定は、デフォルト(優先順位1位)の設定が可能です。ここでは、デフォルト設定方法を示します。

<注意>

- 登録は完了している必要があります。登録済みのWi-Fiの中で、どれをデフォルトに設定するかを以下の手順で選択します。
- 「4-2.撮影方法」が完了している必要があります。

<手順>

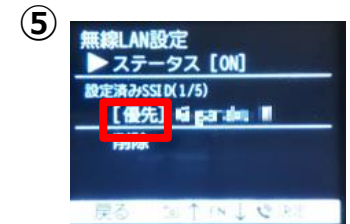
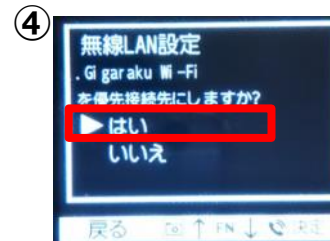
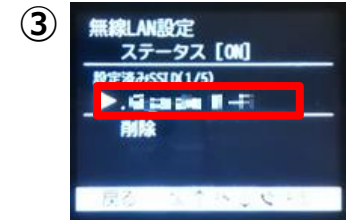
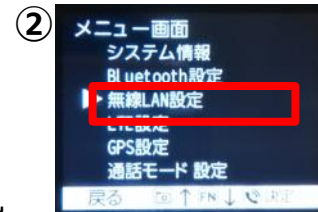
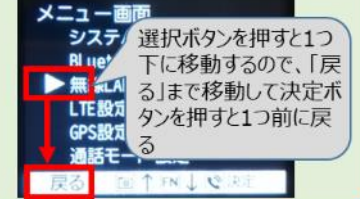
- ①カメラ本体の上部にあるFNボタンを押します。
- ②ディスプレイに設定メニューが表示されます。選択ボタンで「無線LAN設定」を選択し、決定します。
- ③デフォルトにしたいSSIDを選択ボタンで選択し、決定ボタンを押します。
- ④「はい」ボタンを選択ボタンで選択し、決定ボタンを押します。「戻る」操作（上記基本操作参照）で戻ります。
- ⑤WLANまで戻ったら、該当のSSIDの先頭に“[優先]”が表示されていれば設定成功です。

【基本操作】

<カメラ本体>



<共通操作:「戻る」操作>



付録－ 6 . 実績のある接続機器

カメラに接続するBluetooth等の接続機器は基本的には規格を満たすことが接続条件ですが、メーカー毎に独自実装部分があり相性が悪い場合があります。

ここでは、弊社で動作確認ができた機種を紹介しますのでご参考ください。

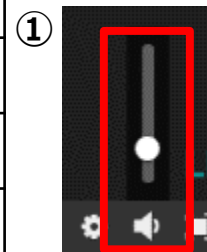
接続機器	実績のある機種	備考
ヘッドセット	<ul style="list-style-type: none">・ELECOM LBT-HS40MMP・BUFFALO BSHSBE200BK・サンワサプライ MM-BTMH37BK	
LTE	<ul style="list-style-type: none">・BP SIM (100/150GBプラン)・IIJモバイルサービス/タイプI	<ul style="list-style-type: none">・本カメラは下りよりも上りの通信量が多いため、上りの通信量をご考慮の上、お選びください。・左記はメーカーから開示されている検証済みのSIMになります。左記以外のSIMをご利用の場合はお客様にて動作確認の上、ご利用ください。※SIMによっては連続で使用すると切断するなど、常時利用等が困難な仕様のものがありますのでよくご確認ください。

付録－ 7. ビューアやカメラで音声聞こえない場合の対処

ビューアで音声小さい場合や聞こえない場合、設定値が影響している可能性があります。以下の点を確認してみてください。

＜ヘッドセットのマイクを利用している場合＞

項番	確認項目	内容
①	ビューアの音量設定※	シングルビューアの音量アイコンを確認し、音量が小さければ大きくする。
②	ビューアのストリーミング設定※	シングルビューアの歯車アイコンを押し、カメラの設定を開きます。「設定」を選択し、「ストリーミング」を「ON」にします。
③	ビューアのマイク設定※	シングルビューアの歯車アイコンを押し、カメラの設定を開きます。「設定」を選択し、「マイク」を「ON」にします。
④	ビューアのスピーカーの音量設定※	シングルビューアの歯車アイコンを押し、カメラの設定を開きます。「設定」を選択し、「スピーカーの音量」を半分より大きめの値にします。
⑤	ビューアのマイクの音量※	シングルビューアの歯車アイコンを押し、カメラの設定を開きます。「設定」を選択し、「マイクの音量」を半分より大きめの値にします。
⑥	ヘッドセットの接続確認	液晶画面の上部にBluetoothのアイコンが青く表示されているか確認ください。表示されていない場合は、「3 - 3. ヘッドセットの接続」を試してください。
⑦	ヘッドセットの充電確認	念のため、ヘッドセットを十分に充電する。
⑧	ヘッドセットの種類の確認	通話機能付きかを確認。通話機能付きで、上記すべてを試しても音声聞こえない場合、実績のある「付録-6」の一覧にある機種で一度お試しになることをお勧めします。



※ログインユーザが視聴権限の「デバイス設定」の権限を持っていない場合は設定(右図)の確認/変更はできません

＜カメラ本体のマイクを利用している場合＞

上記①～⑤に加えて、「5 - 3. カメラの初回設定」を試してみてください。

なお、カメラ本体でカメラのマイクやスピーカーの音量設定はできません。上記①～⑤のようにビューアで設定変更します。



付録－ 8. LTE接続設定方法(APNの登録)

本手順はSIMのAPN設定を手動で行う手順です。

「3－1. (初期作業)NWの接続」を実施し、LTE接続ができない場合に実施してください。

<注意>

- ・SIMの挿入・取り外しは、本体の電源を切った状態で実施してください。
- ・「1-3.仕様」を満たす必要があります。

<手順>

①ブラウザで以下のURLにアクセスします。

<https://safie.link/app/network/>

APNの情報を入力して「QRコード生成」ボタンを押すと右のようにQRコードが生成されます。QRコードを表示したままにしてください。

- ・APN名
- ・ユーザー名
- ・パスワード
- ・サインイン情報の種類

②カメラ本体のFNボタンを押し、設定メニューを表示します。

③FNボタンで「QRコードスキャン」を選択し、決定します。

④QRコードをスキャンする画面が表示されるので、画面内の赤枠に①のQRコードが重なるように映します。スキャンに成功したら、設定メニューに戻ります。

⑤メニューに戻ったら、FNボタンで「QRコードスキャン」を選択し、決定します。LTE設定の「ステータス」を確認し、OFFの場合はONに変更します。

これで登録完了です。設定が完了すると自動的にLTEネットワークに接続を試みます。SIMを挿入しても接続できない場合はAPN情報が誤っている可能性がありますので設定情報をご確認の上、再度登録してください。

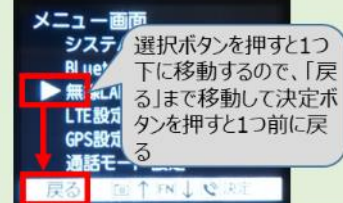
APN情報を削除する手順は次ページを参照ください。

【基本操作】

<カメラ本体>



<共通操作:「戻る」操作>



①

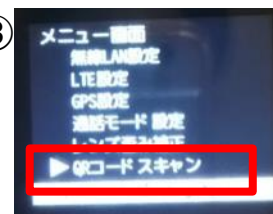
(参考)
生成QRコードイメージ



②



③



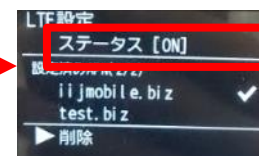
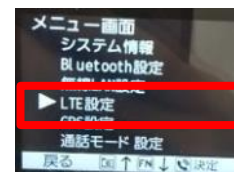
④



<QRコード読取成功時の画面例>



⑤



付録－ 8 . LTE接続設定方法(APNの削除)

LTEのAPN情報を削除する手順を示します。

<注意>

- 出荷時に設定されている「iijmobile.biz」は削除できません。

<手順>

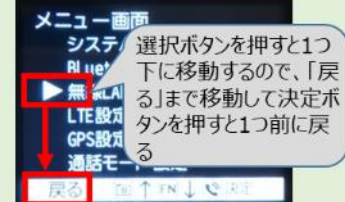
- ①カメラ本体のFNボタンを押し、設定メニューを表示します。
- ②FNボタンで「無線LAN設定」を選択し、決定します。
- ③FNボタンで「削除」を選択し、決定します。
- ④削除対象のAPNをFNボタンで「削除」を選択し、決定します。
- ⑤FNボタンで「はい」を選択し、決定します。
- ⑥この画面で削除作業は終了です。

【基本操作】

<カメラ本体>



<共通操作:「戻る」操作>



付録－ 9 . ビューア側の通話プッシュ通知動作確認方法

以下のツールを使用する事でプッシュ通知がご利用の環境で動作するかを確認できます。

<注意>

- ・カメラからの通話呼出し時に、ビューア側でプッシュ通知が表示されない場合に、ビューア側のネットワーク環境に問題がないかの動作確認にご利用いただけます。
- ・事前に「5－1. ビューアの初回設定」を実施してください。

<手順>

①ビューアにログインし、「ユーザー設定」⇒「通知設定」に遷移します。
ブラウザ通知設定の「通知を許可する」を「ON」にします。

②このとき、ブラウザが通知の表示許可を求めてくる場合がありますので
求められた場合は「許可」をクリックします。

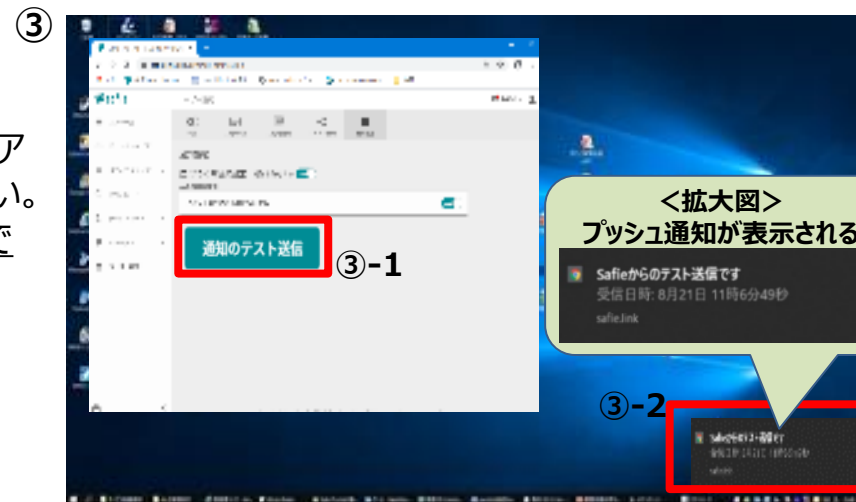
③「通知のテスト送信」をクリックします。
しばらく、プッシュ通知が表示されれば問題ありません。

- ※プッシュ通知で表示されるデザインはブラウザ・OSの種類により異なります。
- ※表示されない場合は以下の対処をご確認ください。

<プッシュ通知が表示されない場合>

- ・このツールでプッシュ通知が表示されない場合、「5－1. ビューアの初回設定」の設定もれの可能性がありますので再実施してください。
- ・上記初回設定に特に問題ない場合は、ビューア側のネットワークでプッシュ通知を阻害していますので、ネットワーク管理者にご相談いただくか、別のネットワークでビューアをご利用ください。

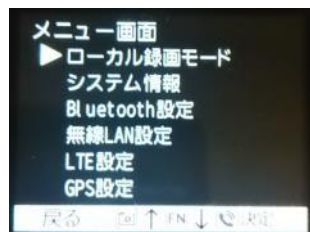
- ※別のネットワーク環境で通話機能を使用する場合、
念のため「5－1. ビューアの初回設定」を実施ください。



付録－10. カメラの設定メニュー一覧(Pocket2)

カメラ本体の設定画面では、以下のメニューが存在します。

<参考：設定画面>

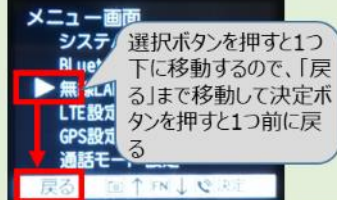


【基本操作】

<カメラ本体>



<共通操作：「戻る」操作>

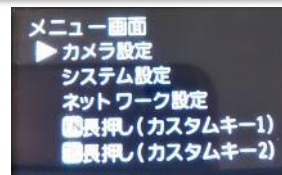


設定メニュー	内容
ローカル録画モード	ローカル録画モードのON/OFFの切り替えを行えます。
マイク設定	カメラのマイクのON/OFFの切り替えを行えます。カメラのマイクがOFFの場合、ビューアの設定に関わらず録音されません。
システム情報	端末の温度やバッテリー残量、ファームウェア情報やMACアドレスを参照できます。
Bluetooth設定	通話時に利用するBluetoothヘッドセットの追加や削除が行えます。
無線LAN設定	登録しているSSIDの表示・削除、および優先設定を行えます。
LTE設定	登録しているAPN情報の表示・削除を行えます。
GPS設定	ONにするとGPSで位置を取得できるようになります。位置はビューア上のマップビューア等に表示されます。
通話モード設定	クラウドからの着信において、ヘッドセット未接続時に着信を許可するかの設定が行えます。
ディスプレイ設定	ディスプレイが自動的にOFFになるまでの時間を設定します。
レンズ歪み補正	レンズ歪み補正の設定を変更します。ONにすると、撮影および録画される映像の歪みが緩和されます。
QRコードスキャン	QRコードを読み込むことで無線LANのSSID/パスワードやAPN情報の追加登録を行えます。
バッテリー残量アラート	バッテリー残量が10%以下になった時にポップアップ表示と音声による通知を行うかを設定できます。
ファームウェア更新	現在のファームウェア情報の参照や新しいファームウェアへのアップデートが行えます。
ライセンス	本端末に関する技適やライセンスに関する情報を表示します。

付録－10. カメラの設定メニュー一覧(Pocket2Plus/V2)

カメラ本体の設定画面では、以下のメニューが存在します。
カメラ本体のボタンの基本操作はPocket2と同じです。

<参考：設定画面>



設定メニュー大項目	設定メニュー小項目	内容
カメラ設定	デジタルズーム	デジタルズームを実施できます。一時的に手振れ補正がOFFになります。
	白色LED ON/OFF	白色LEDのON/OFFを切り替えられます。
	露出補正	露出を補正して動画とスナップショットの明るさを調整します。
	映像補正設定	「手振れ補正」「広角補正(Pocket2のレンズゆがみ補正)」「候補なし」から補正を指定できます。デジタルズームが設定されている状態で手振れ補正をONにした場合、デジタルズームが解除されます。バッテリー使用量を抑えたい場合は補正なしを選択。設定変更すると再起動することに注意。
	スナップショット設定	ONにするとスナップショットをCALISに対応できます。
	マイク設定	カメラのマイクのON/OFFの切り替えを行えます。カメラのマイクがOFFの場合、ビューアの設定に関わらず録音されません。
システム設定	システム情報	端末の温度やバッテリー残量、ファームウェア情報やMACアドレスを参照できます。
	通話モード設定	クラウドからの着信において、ヘッドセット未接続時に着信を許可するかの設定が行えます。
	Bluetooth設定	通話時に利用するBluetoothヘッドセットの追加や削除が行えます。
	GPS設定	ONにするとGPSで位置を取得できるようになります。位置はビューア上のマップビューア等に表示されます。
	ディスプレイ設定	ディスプレイが自動的にOFFになるまでの時間を設定します。
	バッテリー残量アラート	バッテリー残量が10%以下になった時にポップアップ表示と音声による通知を行うかを設定できます。
	ファームウェア更新	現在のファームウェア情報の参照や新しいファームウェアへのアップデートが行えます。
	ライセンス	本端末に関する技適やライセンスに関する情報を表示します。
ネットワーク	ローカル録画モード	ローカル録画モードのON/OFFの切り替えを行えます。
	無線LAN設定	登録しているSSIDの表示・削除、および優先設定を行えます。
	LTE設定	登録しているAPN情報の表示・削除を行えます。
	QRコードスキャン	QRコードを読み込むことで無線LANのSSID/パスワードやAPN情報の追加登録を行えます。
長押し(カスタムキー1)	FNボタンを長押ししたときの動作をカスタマイズできます。「カメラ設定」「システム設定」「ネットワーク設定」のいずれかから動作を選択できます。	
長押し(カスタムキー2)	スナップショットボタンを長押ししたときの動作をカスタマイズできます。「カメラ設定」「システム設定」「ネットワーク設定」のいずれかから動作を選択できます。	

付録－ 1 1. マイクON/OFF設定方法

カメラ本体のマイクの設定は、録画/通話でのカメラの音声のON/OFFを切り替える機能です。OFFにすることでカメラ側のプライバシーを守れます。

<注意>

- ・「4-2.撮影方法」が完了している必要があります。
- ・本設定は、ビューア側のカメラのマイク設定がONの時のみ有効です。
※ビューア側のマイク設定がOFFの場合、以下の操作でカメラ側をONにしても録画/通話でのカメラ音声は聞こえないままです。
- ・通話開始時に表示されるポップアップ上でもマイクのON/OFFを変更できます。

<手順>

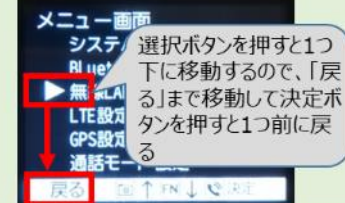
- ①カメラ本体のFNボタンを押し、設定メニューを表示します。
- ②FNボタン(選択ボタン)で「マイク設定」を選択し、決定します。
- ③「ステータス」を選択し、決定します。
- ④設定したいマイクの状態(ON/OFF)を選択し、決定します。
※マイクの状態はカメラ本体の液晶のアイコンでも確認できます。
「付録－ 4. ディスプレイ上の各ステータスアイコン」参照。

【基本操作】

<カメラ本体>



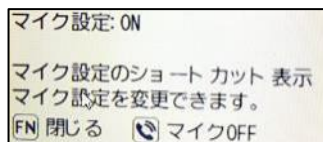
<共通操作:「戻る」操作>



<(参考)上記以外のマイク設定の変更方法>

カメラ側面にあるスナップショットボタンを長押しすると、以下のような設定変更のポップアップが表示されます。ポップアップ表示時に呼出しボタンを押すたびにON/OFFが切り替わります。

※通話時でも同じ操作でポップアップは表示され、ON/OFFの切り替えができます。(ポップアップの文言は下図と異なります)



付録－ 1 2 . 映像画質設定(映像の途切れ、遅延の場合の対処方法)

映像が途切れる場合や、遅延する場合に以下の映像画質設定を試せます。

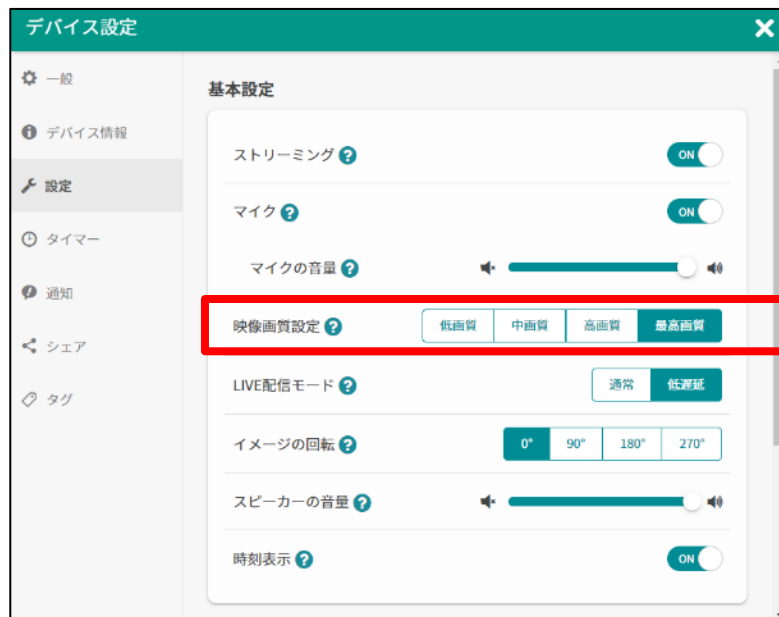
<注意>

・映像画質設定によって必ず問題が解消するものではありません。

<手順>

①ビューアにログインし、[デバイス設定] → [基本設定] → [映像画質設定] に進み、高画質、中画質または低画質を設定を「ON」にします。

※ Pocket2Plus/V2は「最高画質」を選択することも可能です。



<補足>

映像の途切れや遅延がある場合、電波環境が悪い可能性があります。本設定は、画質を下げることで通信量を減らし、電波環境が悪い所でも映像録画や通話が途切れにくくする狙いがあります。画質を優先したい場合、電波環境の良い場所での撮影をお願いします。

【Pocket2からPocket2 Plus/V2へ機種変更した場合の注意点】

映像画質設定を「最高画質」に変更すると通信量が多くなります。

Pocket2で使用していたSIMをそのままPocket2Plus/V2で使用すると、SIMの契約容量を超えて追加課金されてしまう場合がありますのでご注意ください。

特に、故障交換時にPocket2の代替機としてPocket2Plus/V2が送付される場合があるためご注意ください。

付録－ 1 3 . デジタルズーム設定方法(Pocket2Plus/V2)

本体操作でデジタルズームを最大8倍まで設定をすることができます。

<注意>

・手振れ補正機能をONにしている場合、一時的なズーム操作は可能ですが、倍率を固定することができません。

<手順>

①カメラ本体のFNボタンを押し、設定メニューを表示します。

②FNボタン(選択ボタン)で「カメラ設定」⇒「デジタルズーム」の順に選択・決定します。

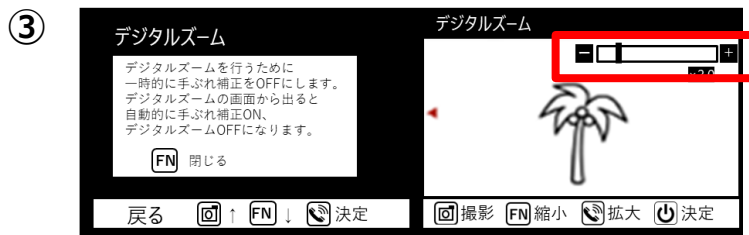
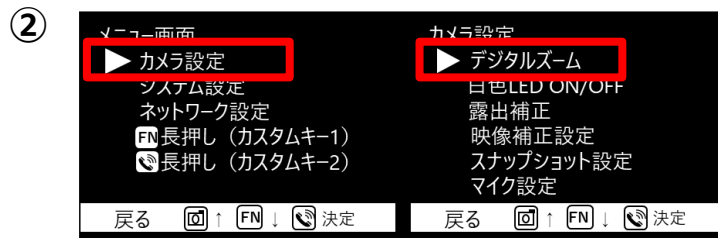
③FNボタンを押し、デジタルズームの撮影画面に遷移したら、以下のように操作してズームの倍率を操作します。

縮小・・・FNボタンを短押しで×0.1倍、長押しで×0.5倍ずつ縮小

拡大・・・通話ボタンをを短押しで×0.1倍、長押しで×0.5倍ずつ拡大

決定・・・電源ボタンを短押しでズームを固定(手振れ補正機能OFF時)

※手振れ補正ON時は固定されず、ズーム1倍の状態に戻ります。



付録－14. 手振れ補正設定方法(Pocket2Plus/V2)

本体操作で手振れ補正をご利用いただくことができます。

<注意>

・手振れ補正ご利用時、処理の関係上、実際のカメラの動きより映像(カメラ液晶、ライブ映像等)がゆっくりになることがあります。

<手順>

①カメラ本体のFNボタンを押し、設定メニューを表示します。

②FNボタン(選択ボタン)で「カメラ設定」⇒「映像補正設定」⇒「ステータス」⇒「手振れ補正」の順に選択・決定します。

